

ESET PROTECT ソリューション  
バージョン 5 からバージョン 8 へのバージョンアップ手順書

**ESET PROTECT ソリューション**  
**バージョン 5 からバージョン 8 へのバージョンアップ手順書**

第 4 版  
2021 年 7 月 1 日  
キャノンマーケティングジャパン株式会社

## 目次

1. はじめに .....	3
2. 本資料における構成の前提.....	4
3. 新バージョンへのバージョンアップフロー .....	5
4. 【STEP1】旧バージョンのアップデート用ミラーサーバー構築.....	7
5. 【STEP2】旧バージョンプログラムのアンインストール .....	15
6. 【STEP3】新バージョンプログラムのインストール.....	24
7. 【STEP4】クライアント用プログラムのバージョンアップ.....	41
8. 【STEP5】旧バージョン用に構築したミラーサーバーの削除.....	61
9. 【STEP6】管理が開始されたことの確認 .....	63

## 1. はじめに

- 本資料は、ESET PROTECT ソリューションをご利用のお客さまがバージョン 5 からバージョン 8 へバージョンアップする際に必要となる作業や注意事項について記載しています。
- 本資料は、本資料作成時のソフトウェア及びハードウェアの情報に基づき作成されています。ソフトウェアのバージョンアップなどにより、記載内容とソフトウェアに搭載されている機能及び名称が異なる場合があります。また本資料の内容は、将来予告なく変更することがあります。
- 本製品の一部またはすべてを無断で複写、複製、改変することはその形態問わず、禁じます。
- ESET、NOD32、ThreatSense、LiveGrid、ESET Endpoint Protection、ESET Endpoint Security、ESET Endpoint アンチウイルス、ESET File Security、ESET NOD32 アンチウイルス、ESET Security Management Center、ESET PROTECT は、ESET, spol. s. r. o. の商標です。Microsoft、Windows、Windows Server、Hyper-V、Internet Explorer、Outlook、Windows Live は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。Mac、Mac logo、Mac OS、OS X は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。Android Robot のイラストは、Google が作成、提供しているコンテンツをベースに変更したもので、クリエイティブ・コモンズの表示 3.0 ライセンスに記載の条件に従って使用しています。仕様は予告なく変更する場合があります。

## 2. 本資料における構成の前提

本資料は、以下の構成を前提として、バージョン 5 のプログラムからバージョン 8 へバージョンアップをする際のフローや注意点を記載しております。

以下の構成に当てはまらないバージョンや構成におきましても、本資料を参考にバージョンアップを実施いただけるように必要な情報を記載しております。

		バージョンアップ前	バージョンアップ後
全体構成		<ul style="list-style-type: none"> <li>クライアント数は Windows が 300 クライアント程度</li> <li>1 台の専用サーバー機で管理機能とミラー機能を運用 (OS は Windows Server 2012R2)</li> <li>プロキシサーバーなし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クライアント数は Windows が 300 クライアント程度</li> <li>1 台の専用サーバー機で管理機能とミラー機能を運用 (OS は Windows Server 2012R2)</li> <li>プロキシサーバーなし</li> <li>既存サーバーをそのまま利用</li> <li>各クライアント端末はインターネット接続可能</li> </ul>
サーバー用	管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>ESET Remote Administrator V5.3</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ESET PROTECT V8.0</li> <li>ESET Management エージェント V8.0</li> </ul>
	ミラー	<ul style="list-style-type: none"> <li>ESET Remote Administrator V5.3</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ESET File Security for Microsoft Windows Server V7.3</li> </ul>
	ウイルス・スパイウェア対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>ESET File Security for Microsoft Windows Server V4.5</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ESET File Security for Microsoft Windows Server V7.3</li> </ul>
クライアント用	管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>なし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ESET Management エージェント V8.0</li> </ul>
	ウイルス・スパイウェア対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>ESET Endpoint Security V5.0</li> <li>ESET Endpoint アンチウイルス V5.0</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ESET Endpoint Security V8.0</li> <li>ESET Endpoint アンチウイルス V8.0</li> </ul>

### <注意>

ESET PROTECT V8.0 (EP)では、以下のミドルウェアを使用します。

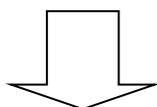
- Microsoft SQL Server 2012 / 2014 / 2016 / 2017/ 2019 もしくは、MySQL 5.6 / 5.7 / 8.0  
  - ※他のサービスでご利用中データベースと EP の共存はできません。
  - ※Windows Server 2012 / 2012R2 は Microsoft SQL Server 2019 に対応していません。
- Apache Tomcat 9 以上
- 64 版の Java

### 3. 新バージョンへのバージョンアップフロー

バージョン 5 からバージョン 8 へバージョンアップを行うにあたり必要なステップは、以下の通りです。

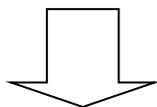
#### 【STEP1】旧バージョンのアップデート用ミラーサーバー構築

- STEP1-1. 2017 年 4 月 25 日公開のミラーツールによるミラーサーバーの構築
- STEP1-2. 旧バージョンプログラムのアップデート先変更



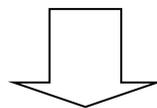
#### 【STEP2】旧バージョンプログラムのアンインストール

- STEP2-1. ESET Remote Administrator V5.3 のアンインストール
- STEP2-2. ESET File Security for Microsoft Windows Server V4.5 のアンインストール



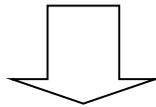
#### 【STEP3】新バージョンプログラムのインストール

- STEP3-1. ESET File Security for Microsoft Windows Server V7.X のインストール(アクティベーション)
- STEP3-2. ミラーサーバーの構築
- STEP3-3. ESET PROTECT V8.0 のインストール

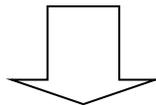


#### 【STEP4】クライアント用プログラムのバージョンアップ

- STEP4-1. クライアント用プログラムのアップデート先を変更するポリシーの作成
- STEP4-2. ポリシーを組み込んだオールインワンインストーラーの作成
- STEP4-3. ESET Endpoint Security / ESET Endpoint アンチウイルス V5.0 のアンインストール
- STEP4-4. ESET Endpoint Security / ESET Endpoint アンチウイルス V8.0 のインストール



**【STEP5】 旧バージョン用に構築したミラーサーバーの削除**



**【STEP6】 管理が開始されたことの確認**

## 4. 【STEP1】旧バージョンのアップデート用ミラーサーバー構築

バージョンアップ中であっても、検出エンジンのアップデートを継続的に行うため、管理サーバーで利用している EFSW V4.5 とクライアントの EES V5 / EEA V5 の検出エンジン(ウイルス定義データベース)用ミラーサーバーを構築します。

### STEP1-1. 2017 年 4 月 25 日公開のミラーツールによるミラーサーバーの構築

ミラーツールを用いて、既存管理サーバー兼ミラーサーバーに旧バージョンの端末用に検出エンジン(ウイルス定義データベース)を配布するミラーサーバーを一時的に構築します。

以下の WEB ページをご参照ください。

【Windows Server 環境でミラーツールを使用してミラーサーバーを構築するには?】

[https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/4341?site\\_domain=business](https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/4341?site_domain=business)

- ※ 事前準備の[2017 年 4 月 25 日に公開したミラーツールの場合]を行い、[ミラーサーバーの構築手順]に従い、ミラーサーバーを構築してください。

なお、上記 WEB ページ手順 12 にて取得すべき検出エンジンは、フォルダ[v5]のみで問題ございません。

手順 12 オプションの例) --excludedProducts ep4 ep6 ep7 era6

構築したミラーサーバーの公開方法は以下の WEB ページをご参照ください。

【IIS を利用して検出エンジン(ウイルス定義データベース)を公開する手順】

[https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/9499?site\\_domain=business](https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/9499?site_domain=business)

- ※ [2. IIS 環境の構築<Web サーバーでの作業>]-[Step.2 IIS の設定]の手順 4 で、物理パスを<C:¥ESETMirror¥WIN32¥mirror¥eset\_upd¥V5>に設定してください。  
また、ERA のミラー設定で使用しているポート(既定 : 2221)以外の任意のポート(例 : 22210)を設定してください。

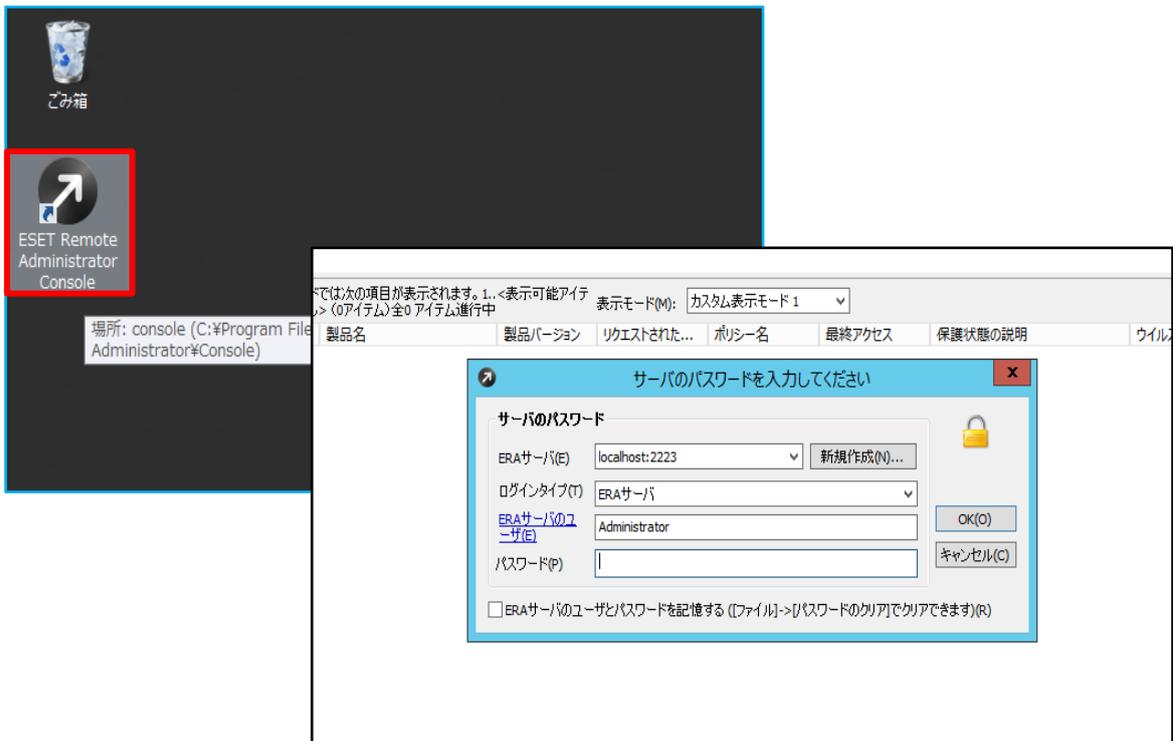
## STEP1-2. 旧バージョンのアップデート用ミラーサーバー構築

ESET Remote Administrator のコンフィグレーションタスクを使用し、【STEP1-1】で構築したミラーサーバーにクライアントのアップデート先を変更します。

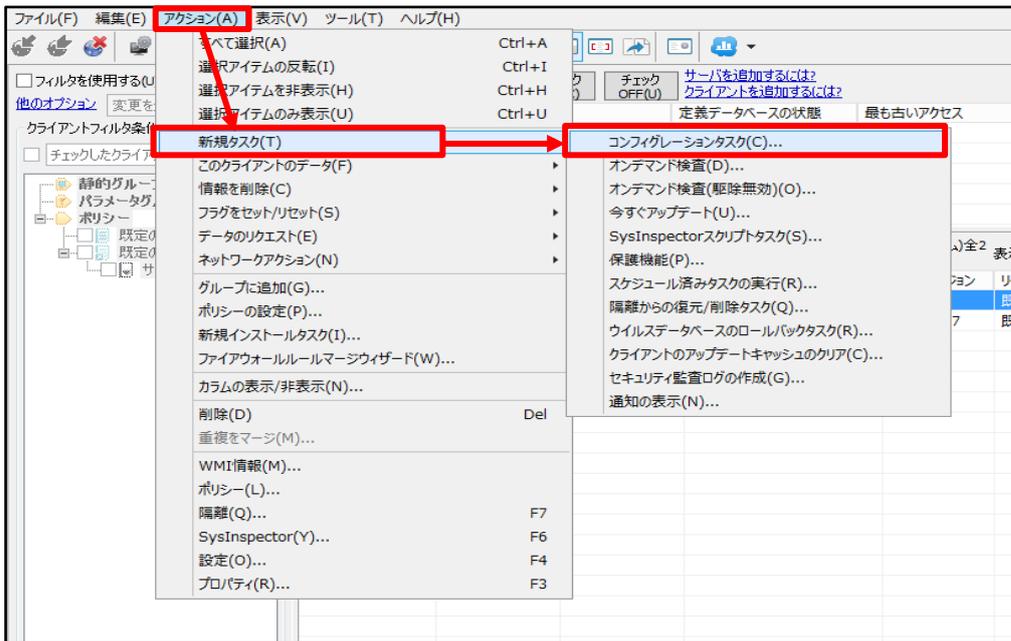
### <参考>

ポリシーを使用する場合は、以下の WEB ページをご参考ください。  
【ESET Remote Administrator V5.3 を利用して、新しいポリシーを作成する手順】  
[https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/10366?site\\_domain=business](https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/10366?site_domain=business)

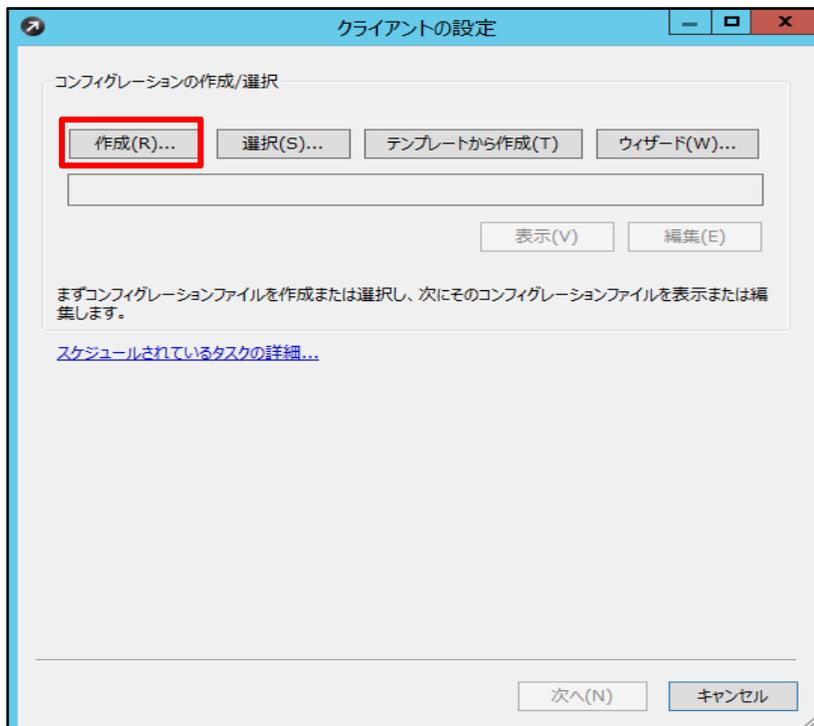
1. ESET Remote Administrator Console(以降、ERAC)を起動し、ESET Remote Administrator Server(以降、ERAS)にログインします。



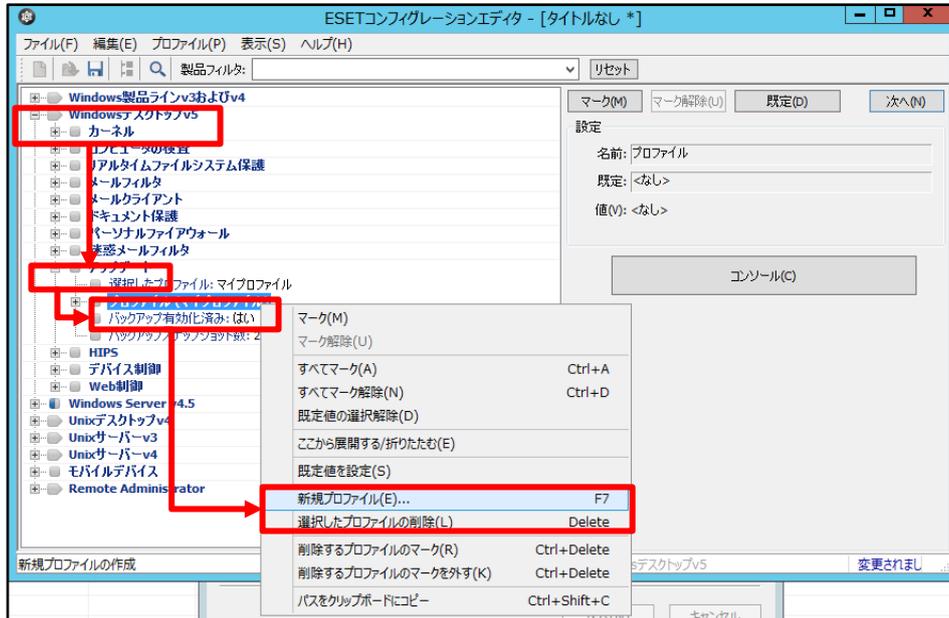
2. [アクション]-[新規タスク]-[コンフィグレーションタスク]をクリックします。



3. [作成]ボタンをクリックします。



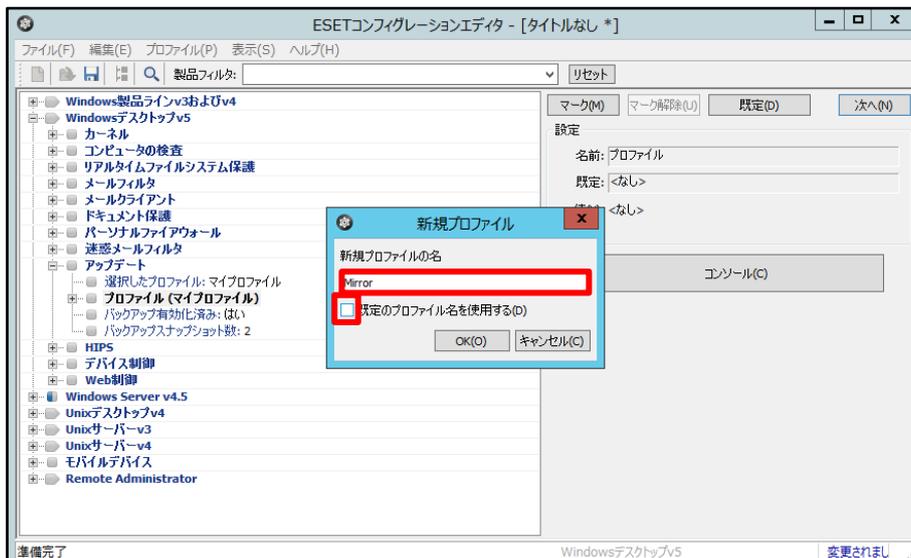
4. EES V5 または EEA V5 の編集を行う場合は[Windows デスクトップ v5]-[アップデート]を展開し、[プロファイル]を右クリックして[新規プロファイル]をクリックします。



※EFSW V4.5 の編集を行う場合は[Windows Server v4.5]-[File Security 4.5 for MS Windows Server]-[アップデート機能]を展開し、[プロファイル]を右クリックして[新規プロファイル]をクリックします。

5. [既定のプロファイル名を使用する]のチェックボックスからチェックを外し、任意のプロファイル名を入力します。

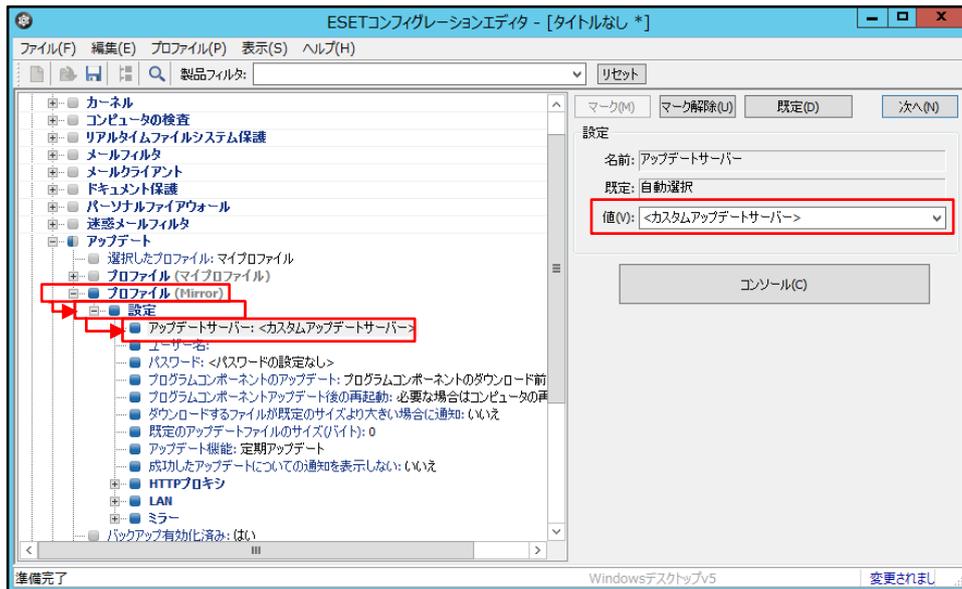
例)Mirror



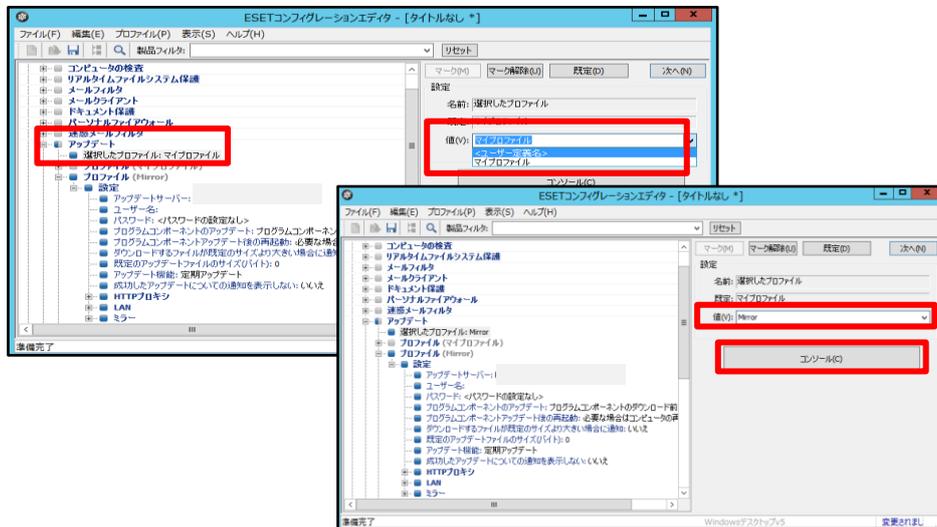
6. [プロファイル(Mirror)]-[設定]-[アップデートサーバー]を展開し、設定の値で[カスタムアップデートサーバー]を選択して、IP アドレスとミラーツールで構築したミラーサーバーのポート番号を入力します。

例)http:// <IP アドレス> : <ポート番号>

※EFSW V4.5 の編集を行う場合は、[プロファイル(Mirror)]-[アップデートサーバー]を展開し、設定の値で[カスタムアップデートサーバー]を選択して、IP アドレスとポートを入力します。

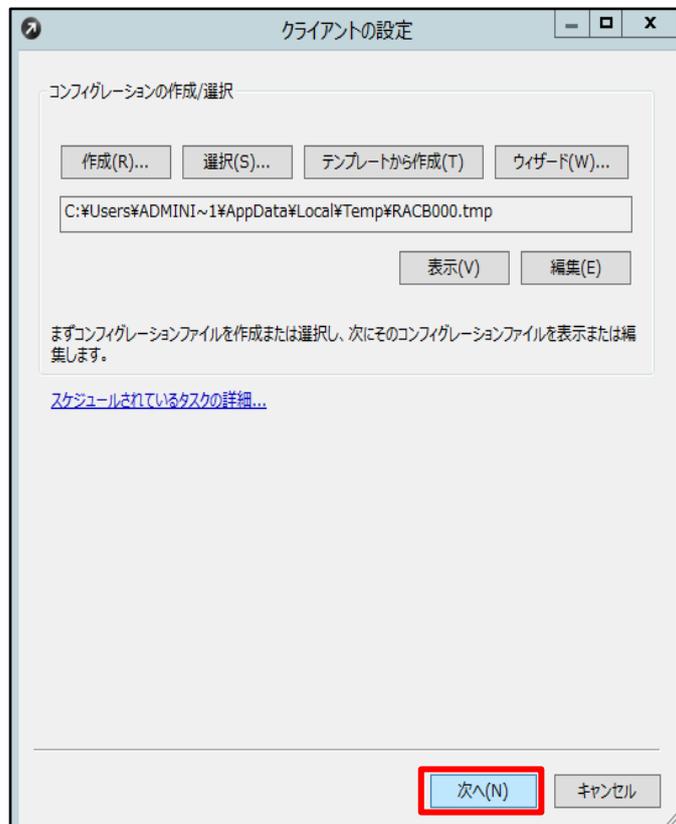


7. [アップデート]-[選択したプロファイル]をクリックし、設定の値のプルダウンから[<ユーザー定義名>]を選択します。選択した[<ユーザー定義名>]を【STEP1-2】の手順 5 で設定したプロファイル名に変更し、コンソールをクリックして設定を保存します。

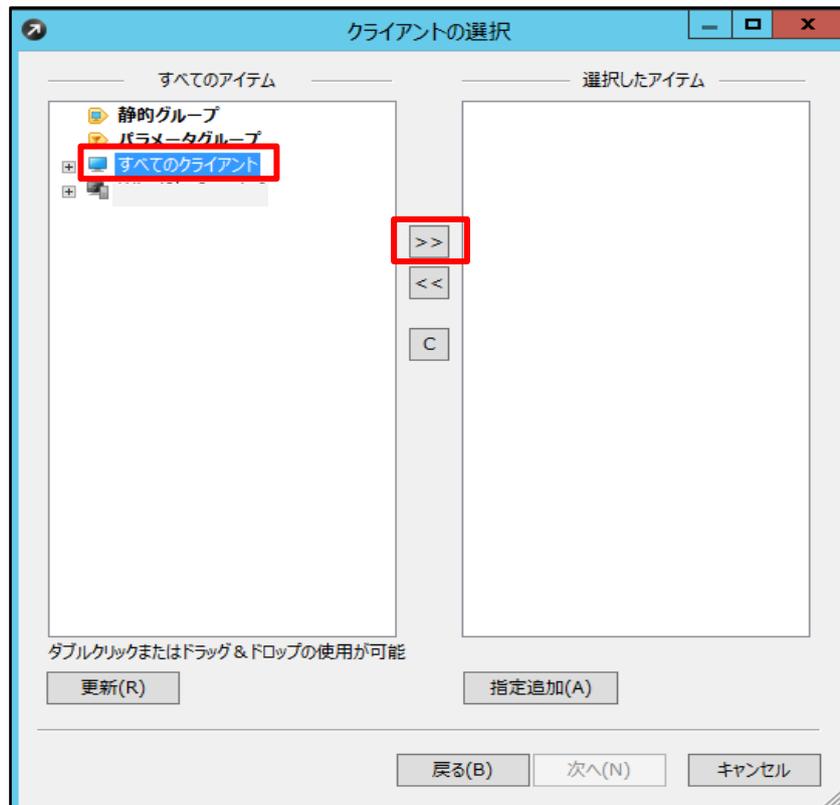


※EFSW V4.5 の場合は、[アップデート機能]-[選択したプロファイル]を展開し、編集を行ってください。

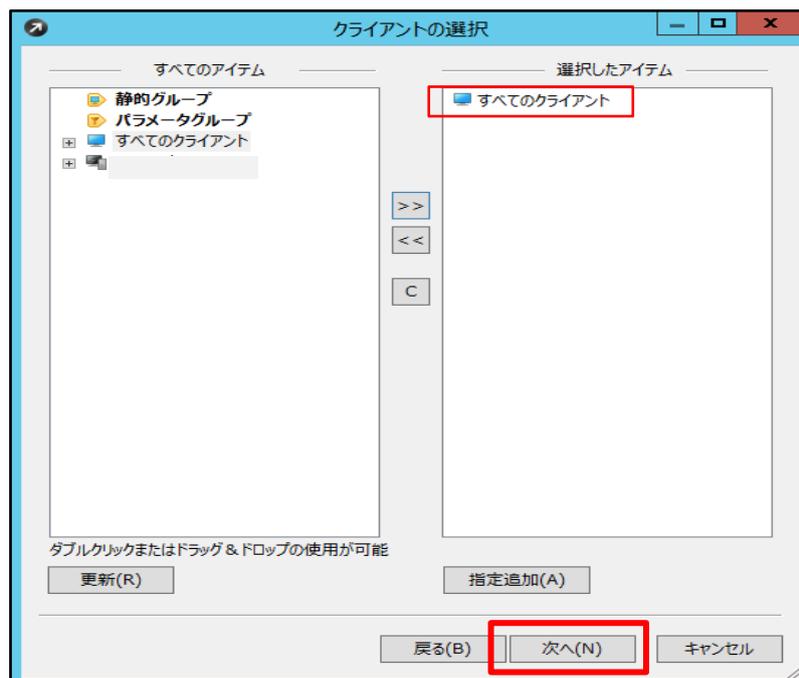
8. [次へ]ボタンをクリックします。



9. 対象のクライアントを選択し、[>>]ボタンをクリックします。  
ここでは「すべてのクライアント」を選択します。

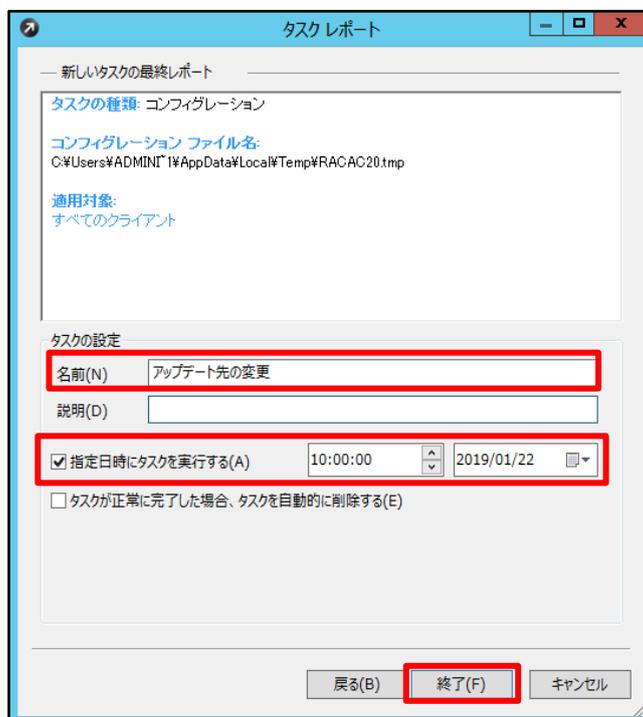


10. 選択したアイテム欄に「すべてのクライアント」が表示されていることを確認して[次へ]ボタンをクリックします。

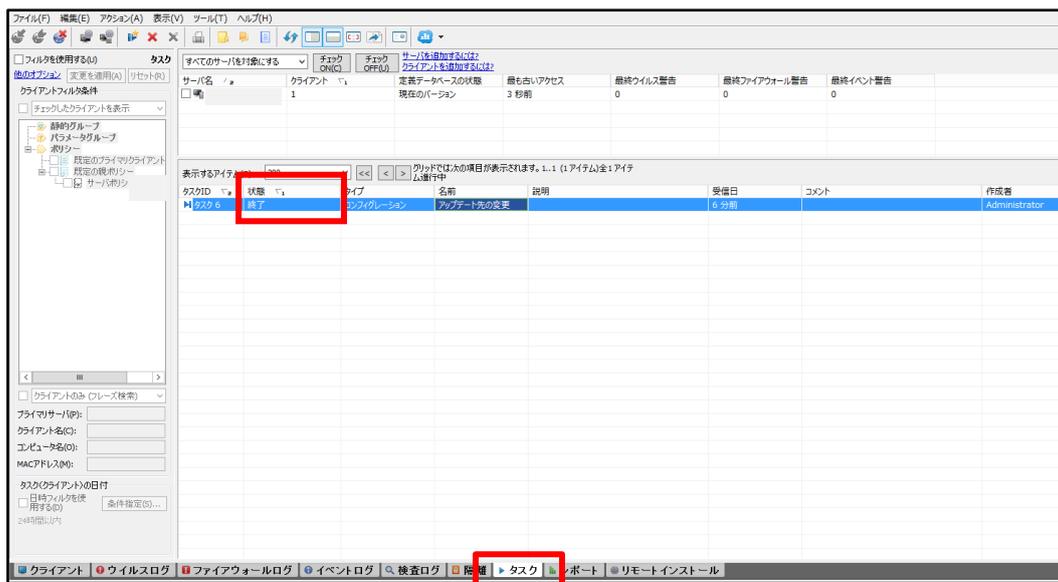


11. タスクの名前を任意で設定し、[指定日時にタスクを実行する]にチェックを入れ、タスクを実行する日時を入力し、[終了]ボタンをクリックします。

例) アップデート先の変更



12. ESET Remote Administrator Console の[タスク]より、状態が[終了]になっていることを確認してください。



以上で、クライアントのアップデート先の変更は完了です。

## 5. 【STEP2】旧バージョンプログラムのアンインストール

サーバーでご利用いただいているオンプレミス型セキュリティ管理ツール(ERA V5.3)とウイルス・スパイウェア対策プログラム(EFSW V4.5)をアンインストールします。

### STEP2-1. ESET Remote Administrator V5.3 のアンインストール

#### <注意>

**ERA V5.3 から EP V8.0 への上書きインストールによるバージョンアップは対応しておりません。** ERA V5.3 のアンインストール後、EP V8.0 をインストールしてください。

その際、ログや設定の引き継ぎは行われなため、新規に設定する必要があります。  
旧バージョンの設定やログを保管されたい場合は、下記 Web ページのバックアップ手順をご参照ください。

【ESET Remote Administrator のフルバックアップをする手順、および、リストアする手順について】

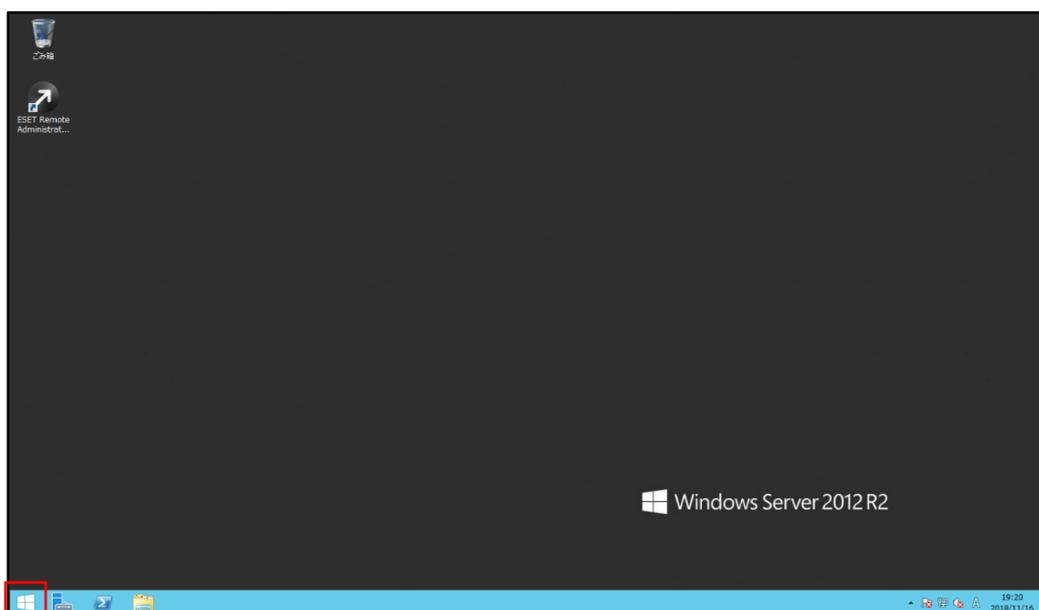
[https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/119?site\\_domain=business](https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/119?site_domain=business)

また、ERA V5.3 のアンインストールから新バージョンにて管理を開始するまでの間、クライアントの管理やログの収集は行えません。

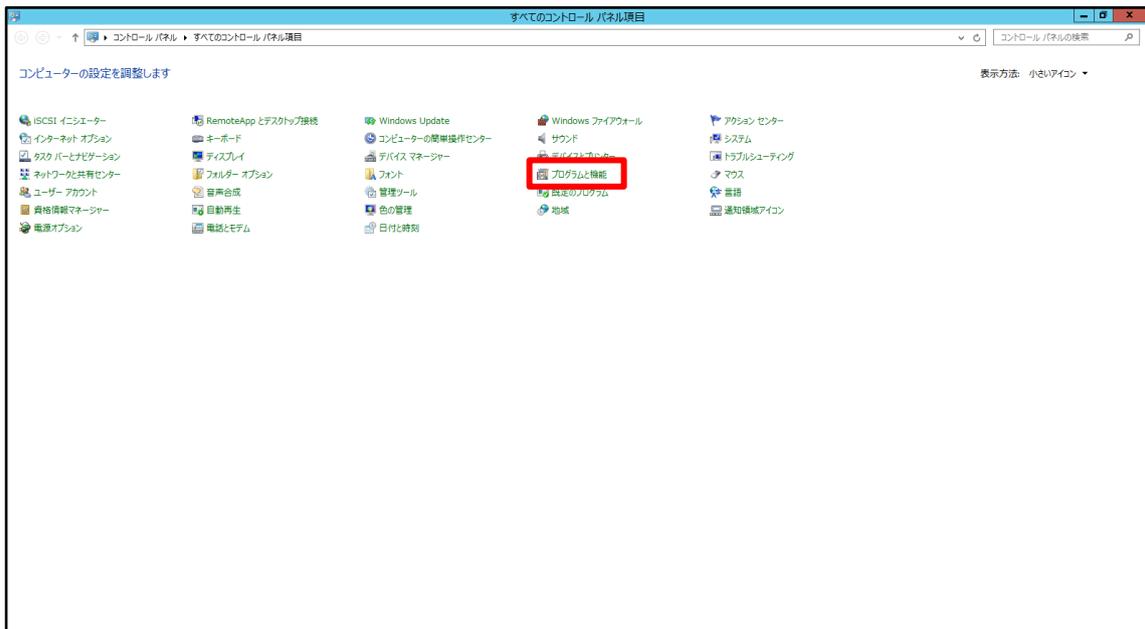
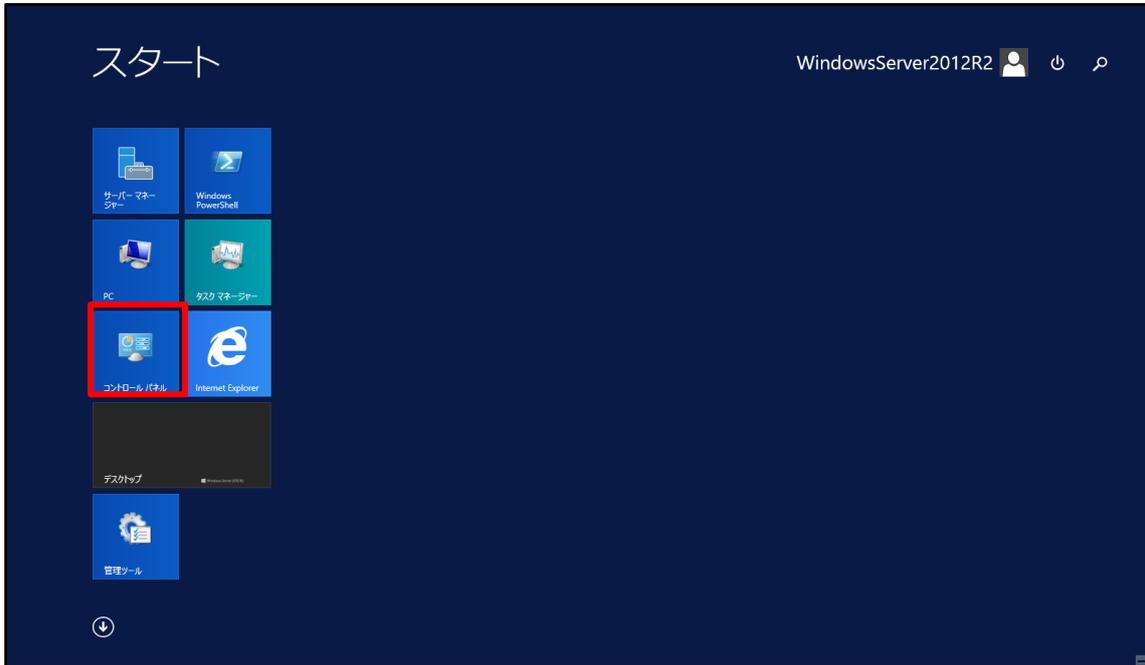
ERAS V5.3 と ERAC V5.3 のアンインストール方法は、下記の通りです。

#### 【ERAS V5.3 アンインストール手順】

1. [スタート]-[コントロールパネル]-[プログラムと機能]をクリックします。



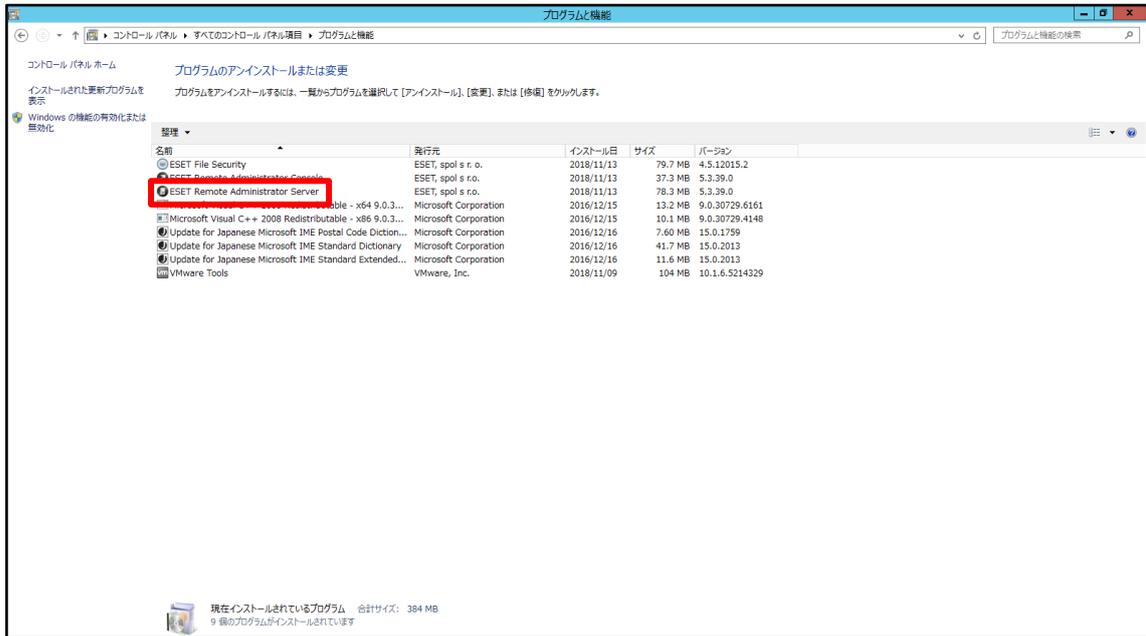
ESET PROTECT ソリューション  
バージョン 5 からバージョン 8 へのバージョンアップ手順書



## ESET PROTECT ソリューション

### バージョン 5 からバージョン 8 へのバージョンアップ手順書

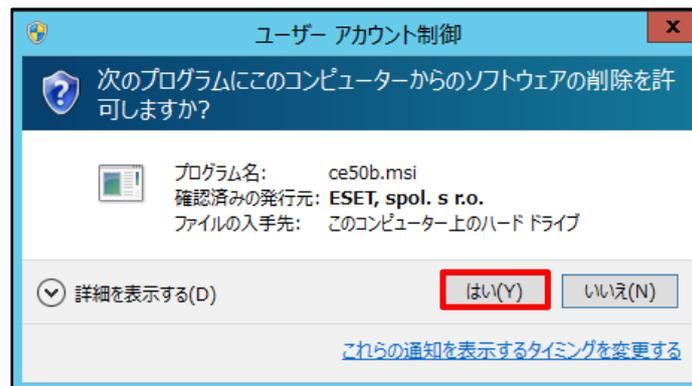
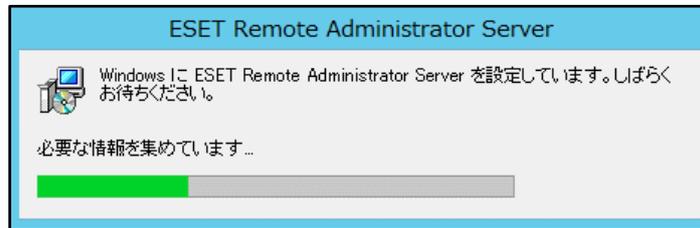
#### 2. [ESET Remote Administrator Server]をダブルクリックします。



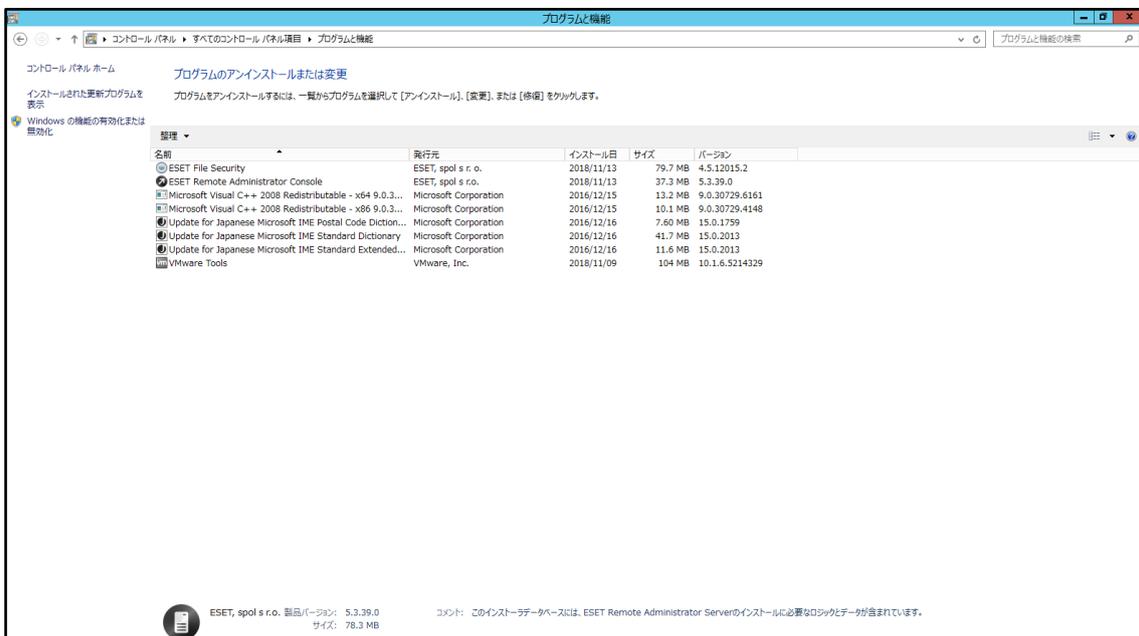
#### 3. [ESET Remote Administrator Server をアンインストールしますか?] という確認ウィンドウが表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。



- アンインストールが開始します。途中で[ユーザーアカウント制御]のウィンドウが表示された場合は[はい]ボタンをクリックします。アンインストール処理実行中は、進捗状況が表示されます。



- 進捗状況の表示が消えるとアンインストール完了です。



### 【ERAC V5.3 アンインストール手順】

※ERASと同様の手順のため、画像については省略致します。

1. [スタート]-[コントロールパネル]-[プログラムと機能]をクリックします。
2. [ESET]-[ESET Remote Administrator Console]をダブルクリックします。
3. [ESET Remote Administrator Console をアンインストールしますか?] という確認ウィンドウが表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。
4. アンインストールが開始されます。途中で[ユーザーアカウント制御]のウィンドウが表示された場合は[はい]ボタンをクリックします。アンインストール処理実行中は、進捗状況が表示されます。
5. 進捗状況の表示が消えると、アンインストール完了です。

## STEP2-2. ESET File Security for Microsoft Windows Server V4.5 のアンインストール

### <注意>

**EFSW V4.5 から EFSW V7.X 以降への上書きインストールによるバージョンアップは対応しておりません。** EFSW V4.5 のアンインストール後、EFSW V7.X をインストールしてください。

その際、設定の引き継ぎは行われなため、新規に設定する必要があります。必要ならば、EFSW V4.5 の設定をメモしたうえで下記の手順を実行してください。

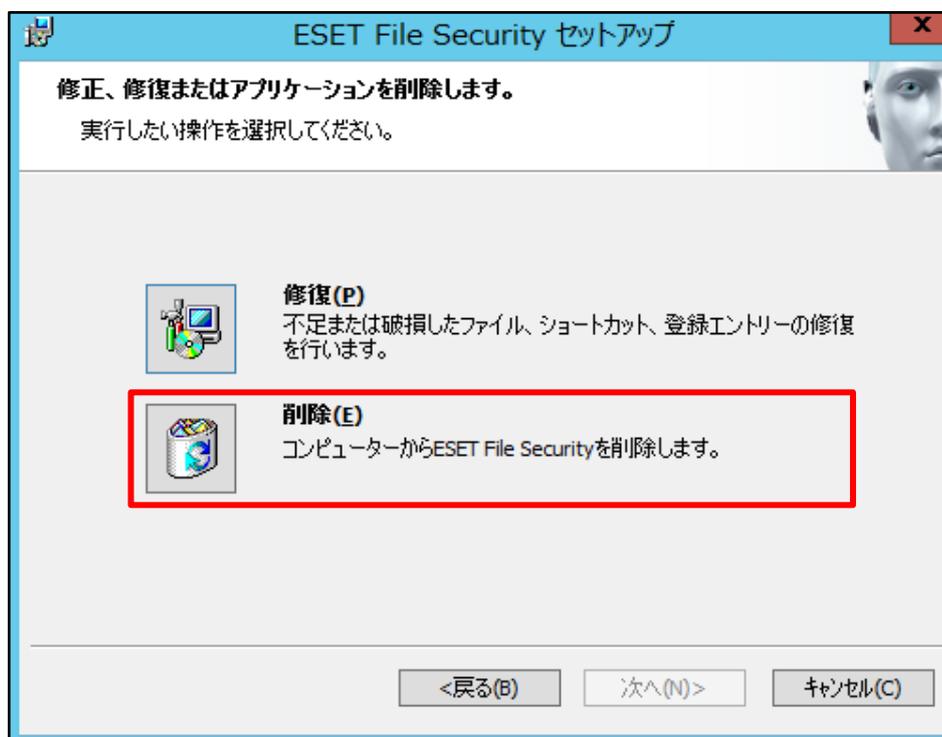
EFSW V4.5 のアンインストール方法は、下記の通りです。

### 【EFSW V4.5 アンインストール手順】

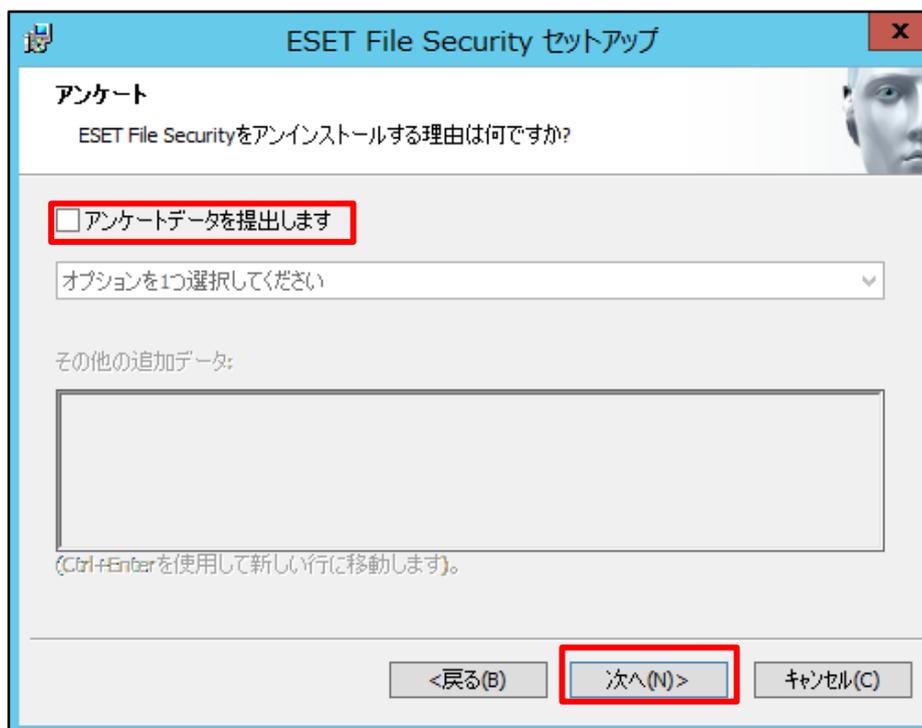
1. [スタート]-[コントロールパネル]-[プログラムと機能]をクリックします。
2. [ESET File Security]をダブルクリックします。
3. [ESET File Security セットアップ] というウィンドウが表示されたら、[次へ]ボタンをクリックします。



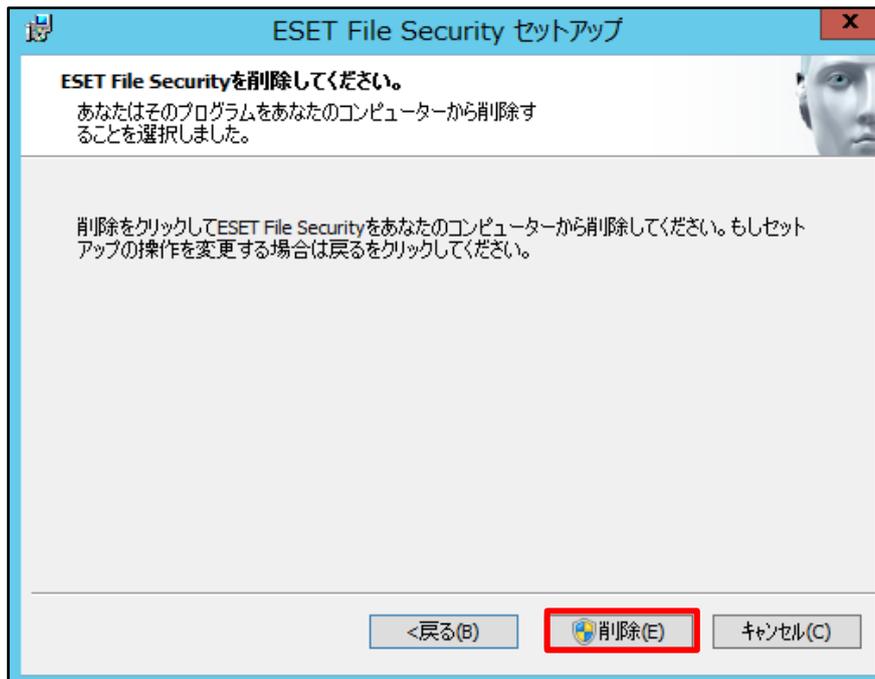
4. [削除]をクリックします。



5. [アンケートデータを提出します]のチェックボックスからチェックを外し、[次へ]ボタンをクリックします。



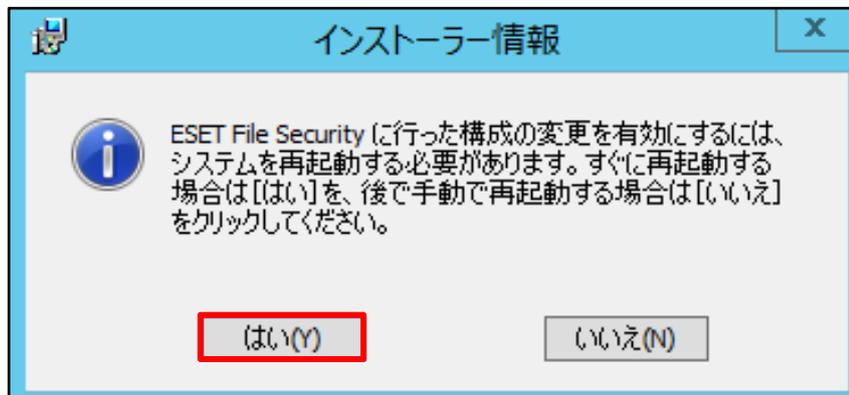
6. [削除]ボタンをクリックします。



7. アンインストールが開始されます。  
途中で[ユーザーアカウント制御]のウィンドウが表示された場合は[はい]ボタンをクリックします。
8. アンインストールが完了したら、[完了]ボタンをクリックします。



- 再起動を促すウィンドウが表示されたら[はい]ボタンをクリックします。



- 再起動が終了したら、アンインストール完了です。

## 6. 【STEP3】新バージョンプログラムのインストール

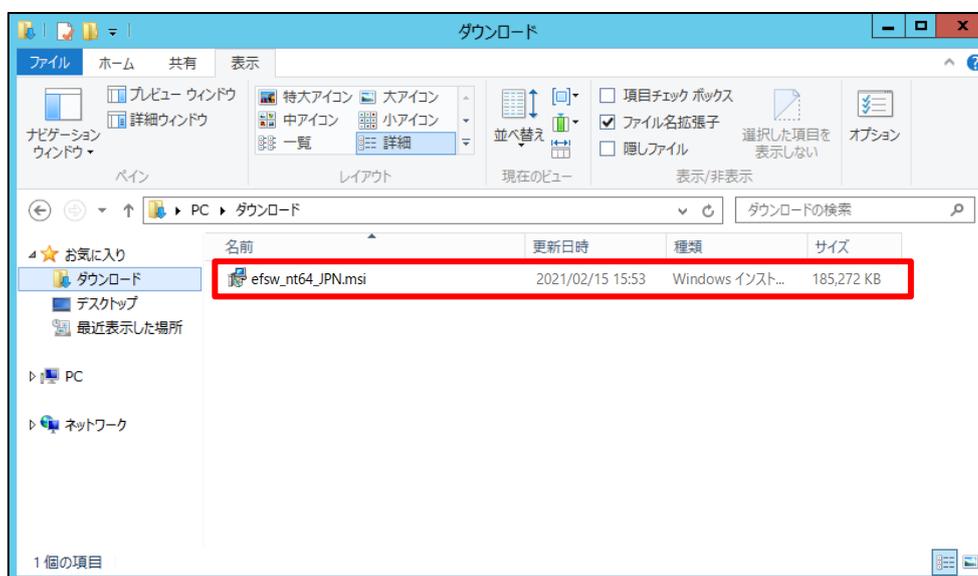
ERA V5.3 と EFSW V4.5 をアンインストールしたサーバーに、ウイルス・スパイウェア対策プログラム兼ミラーサーバー(EFSW V7.X)のインストールとオンプレミス型セキュリティ管理ツール(EP V8.0)のインストールを行います。

### STEP3-1. ESET File Security for Microsoft Windows Server V7.X のインストール(アクティベーション)

※以下画面は、ESET File Security for Microsoft Windows Server V7.3 のものです。

#### 【インストール手順】

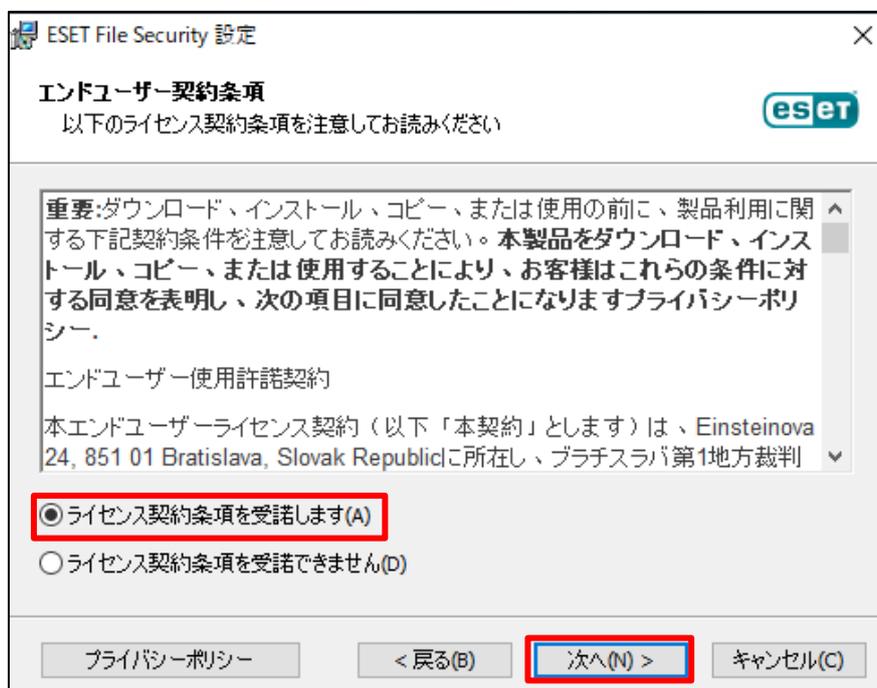
1. ダウンロードした ESET File Security for Microsoft Windows Server のプログラムをダブルクリックしてください。



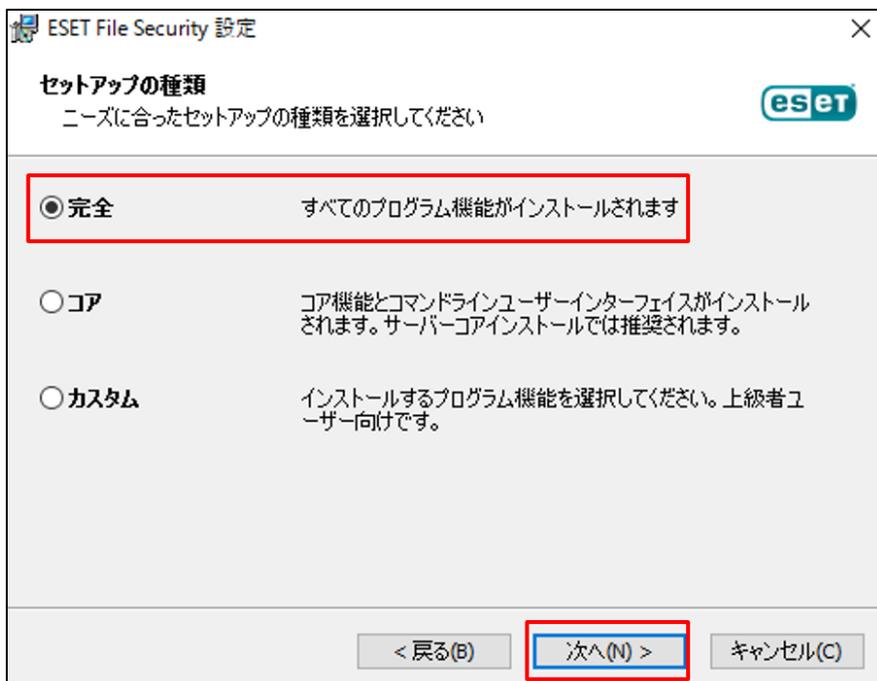
2. [ESET File Security セットアップウィザードへようこそ]というウィンドウが表示されたら、[次へ] ボタンをクリックします。



3. ライセンス契約条項を確認し、[ライセンス契約条項を受諾します]を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



4. [完全]、[コア]、[カスタム]より1つ選び、[次へ]ボタンをクリックします。  
本手順書では、[完全]を選択します。



5. [インストール]ボタンをクリックします。



6. インストールを開始します。[ユーザーアカウント制御]のウィンドウが表示された場合は[はい]ボタンを選択します。
7. インストールが完了したら、[完了]ボタンをクリックします。



## ■ アクティベーション ■

### <注意>

バージョン 7 以降をご利用になる場合、アクティベーション作業が必要になります。アクティベーションを行わないと、検出エンジン(ウイルス定義データベース)のアップデートが行えないため新しく定義された脅威に対して保護されません。

※アクティベーションとは、バージョン 5 の「ユーザー名・パスワードの設定」に代わる作業となります。

下記ユーザーズサイトにログインし、アクティベーションに利用する製品認証キーをご確認ください。

#### ● ユーザーズサイト

<https://canon-its.jp/product/eset/users/>

※ログイン時に「シリアル番号」、「ユーザー名」が必要です。

アクティベーション実行手順は下記の通りです。

#### 【アクティベーション手順】

※プロキシサーバーをご利用環境の場合、事前にプロキシサーバーを設定しておく必要があります。

[詳細設定より、[ツール]-[プロキシサーバ]にご入力のうえ、アクティベーションを実施してください。

1. インストール手順が完了すると、下記の画面が表示されます。[購入した製品認証キーを使用]をクリックします。



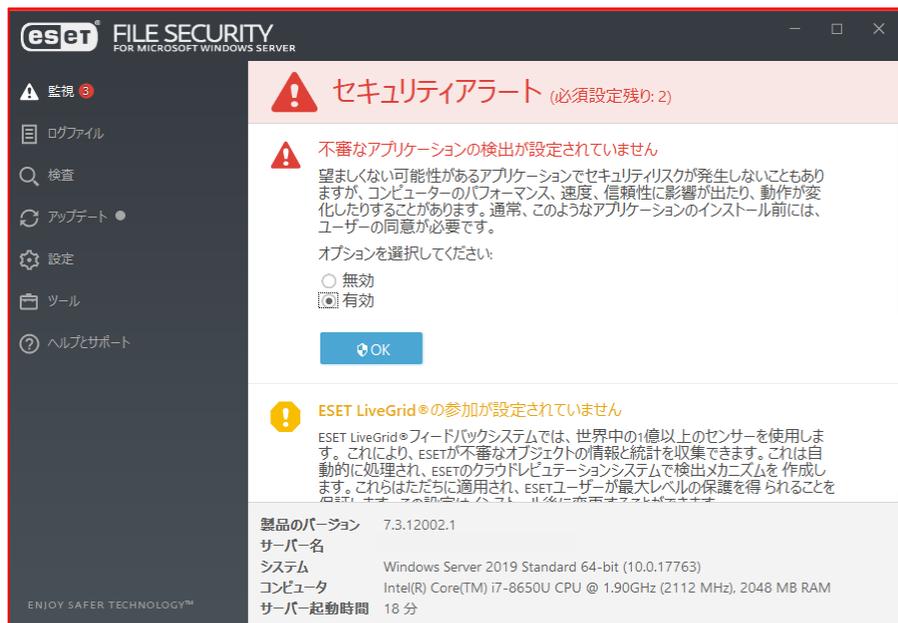
2. 製品認証キーを入力し、[続行]ボタンをクリックします。



3. 途中で[ユーザーアカウント制御]のウィンドウが表示された場合は[はい]ボタンをクリックします。
4. [アクティベーションが成功しました]という画面が出たら[完了]ボタンをクリックします。



5. 必須設定を設定してください。



6. 途中で[ユーザーアカウント制御]のウィンドウが表示された場合は[はい]ボタンをクリックします。

7. アクティベーションが完了すると検出エンジンのアップデートと初回検査が実施されます。

以上でアクティベーションは完了です。

## STEP3-2. ミラーサーバーの構築

新バージョンの各クライアントに検出エンジン(ウイルス定義データベース)を配布するためのミラーサーバーを構築します。

以下の WEB ページをご参照ください。

【プログラムのミラー機能を使用してミラーサーバーを構築するには？】

[https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/12163?site\\_domain=business](https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/12163?site_domain=business)

※ESET Endpoint Security V7.x / V8.x

ESET Endpoint アンチウイルス V7.x / V8.x

ESET File Security for Microsoft Windows Server V7.x で構築する場合

## STEP3-3. ESET PROTECT V8.0 のインストール

### ■プログラムインストール■

EP のオールインワンインストーラーを利用すると、必要なコンポーネントを一括でインストールします。本資料では、オールインワンインストーラーを利用したインストールをご案内しております。

インストール手順は、以下の通りです。

※オールインワンインストーラーは、フォルダパスに日本語や特殊文字が含まれないように展開してください。

#### <注意>

EP のインストールには、以下のシステム要件が必要です。

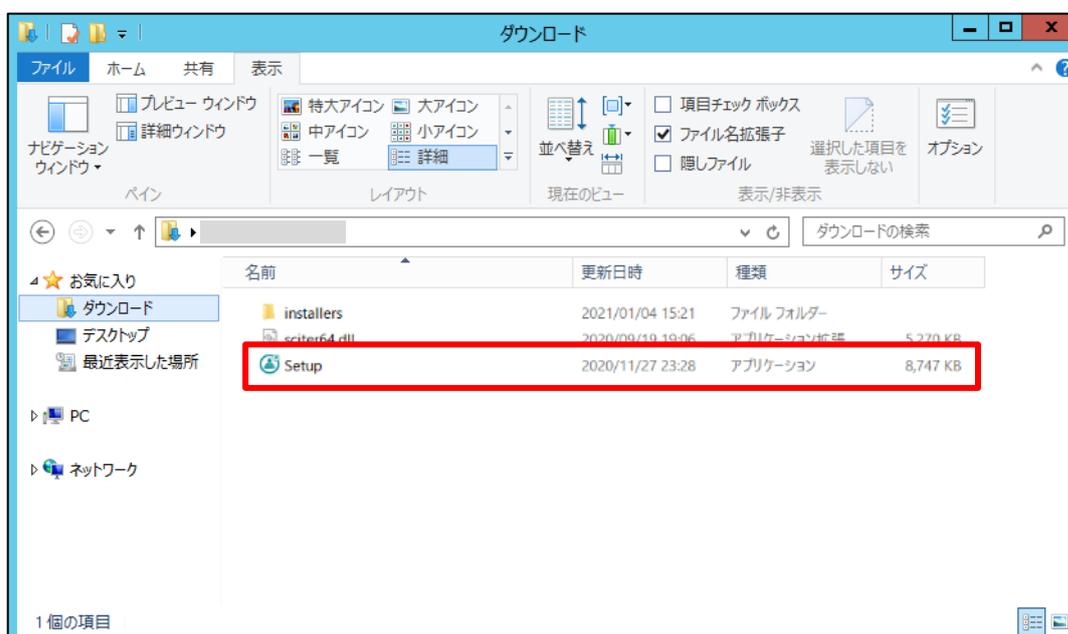
- .NET Framework 4
- 64bit 版の Java

※有償版 JRE または無償版 JDK である Amazon Corretto8 の使用を推奨 しております。AmazonCorretto8 のインストール方法については以下 URL をご参照ください

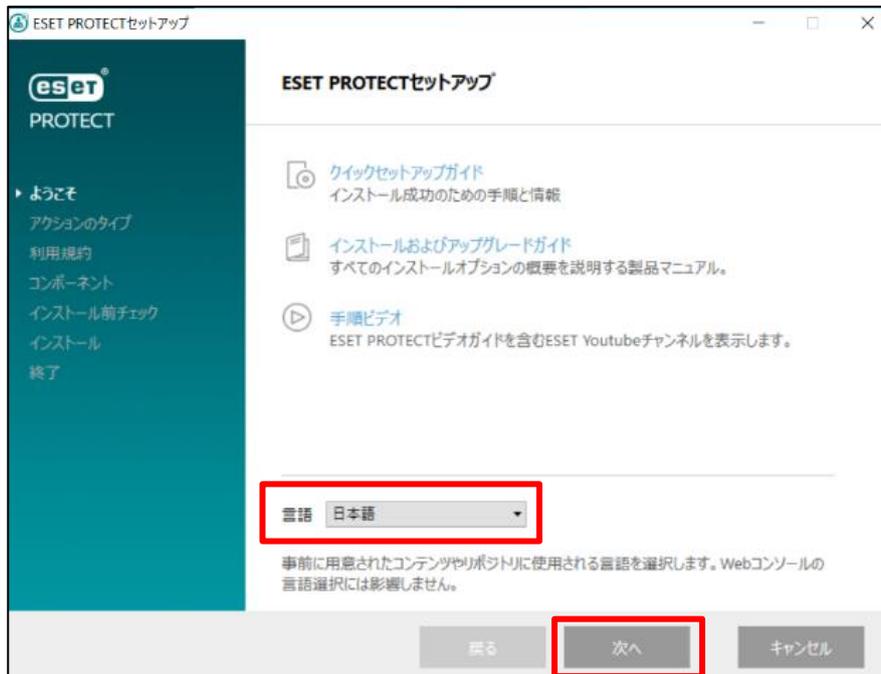
【【構築手順】Windows Server 環境で、オープンソース JDK を利用してクライアント管理用プログラムをインストールするには？】

[https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/13029?site\\_domain=business](https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/13029?site_domain=business)

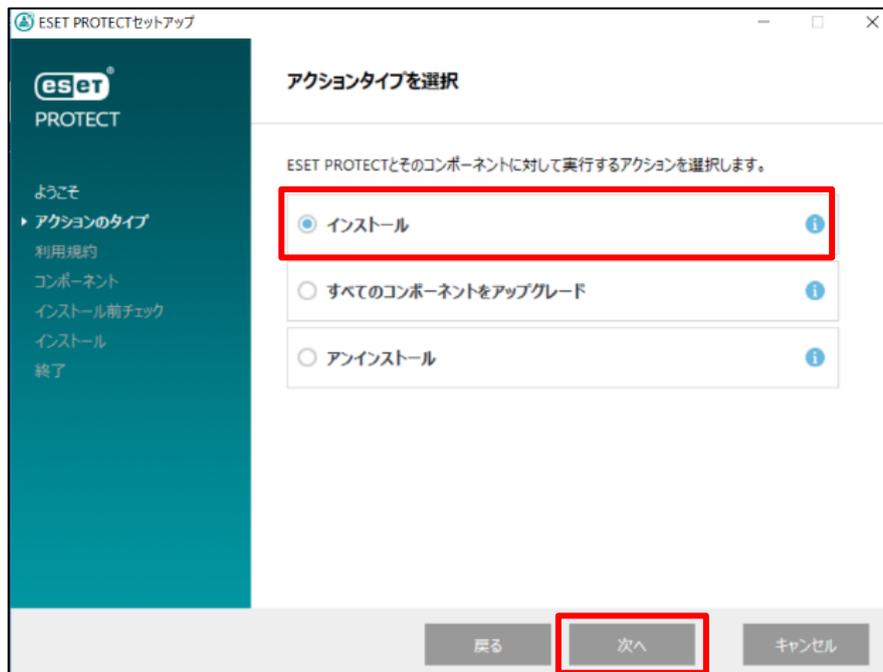
#### 1. [Setup.exe]をダブルクリックします



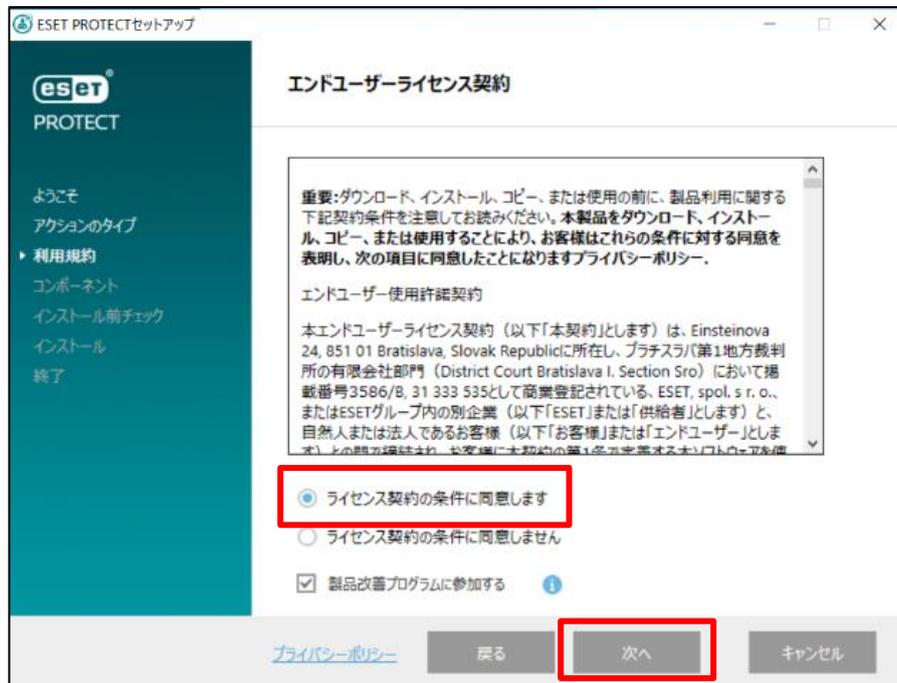
2. [Language]から[日本語]を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。  
※以降、画面は ESET Security Management Center V7.2 のものです。



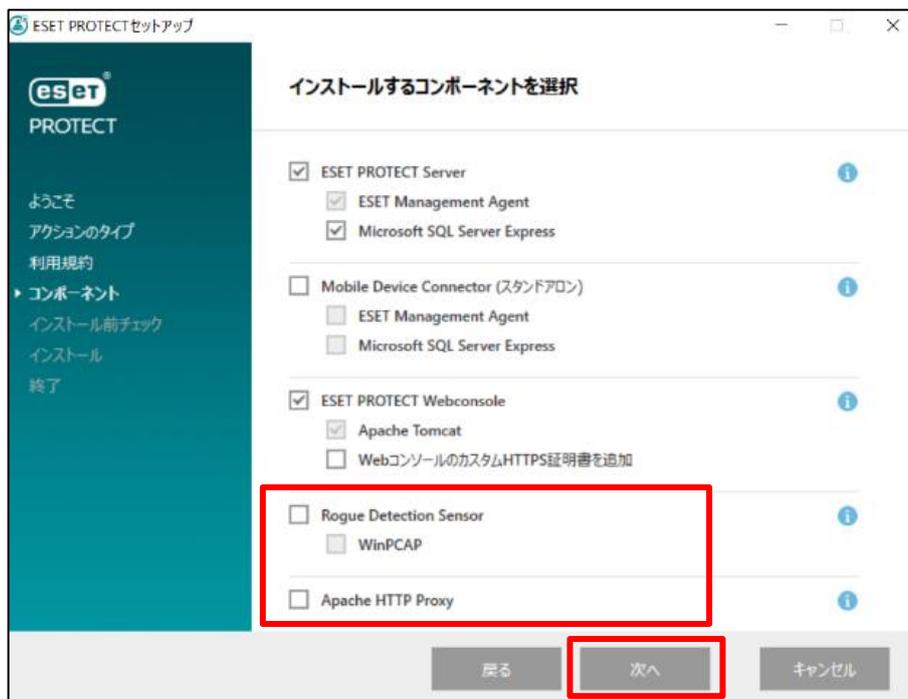
3. [インストール]を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



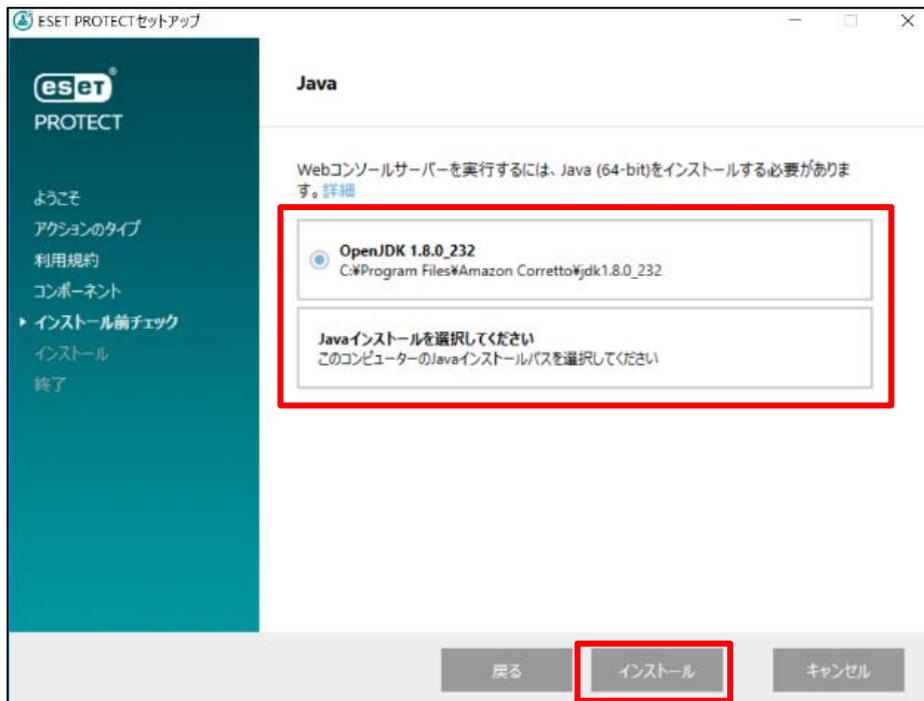
4. エンドユーザーライセンス契約を確認し問題がなければ、[ライセンス契約の条件に同意します]を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



5. [Rogue Detection Sensor]と[Apache HTTP Proxy]からチェックを外し、[次へ]ボタンをクリックします。  
※モバイル管理も行う場合は、[モバイルデバイスコネクタ]にチェックを入れてください。



6. Web コンソールで使用する 64bit 版の Java を選択し、[インストール]ボタンをクリックします。  
 ※本手順書では、Amazon Corretto を使用しています。  
 Amazon Corretto のインストール方法については以下 URL をご参照ください。  
 【【構築手順】Windows Server 環境で、オープンソース JDK を利用してオンプレミス型セキュリティ管理ツールをインストールするには？】  
[https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/13029?site\\_domain=business](https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/13029?site_domain=business)



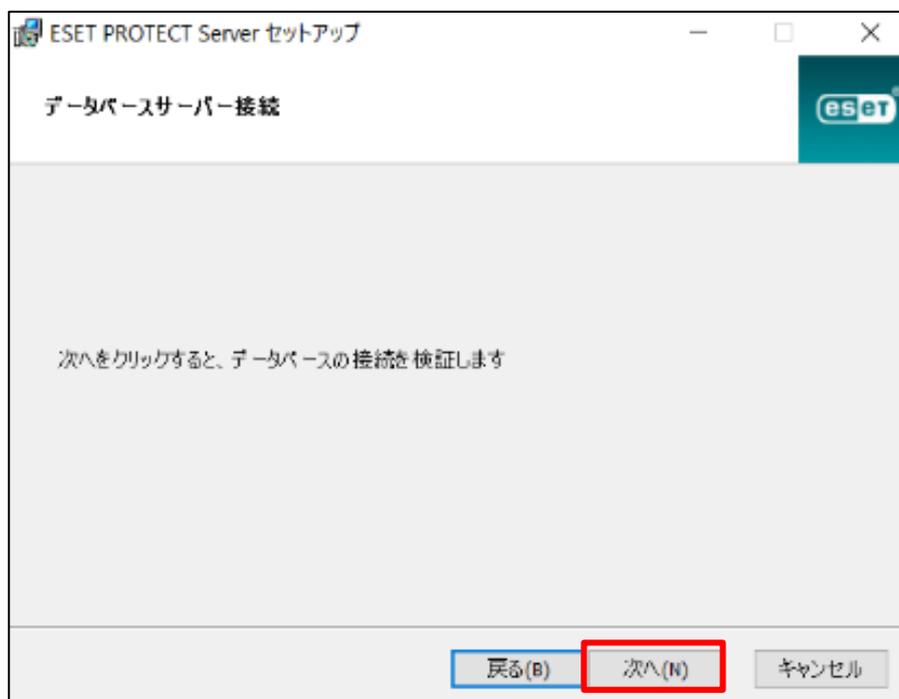
7. インストールが始まると、以下の画面が表示されます。



8. [ESET PROTECT Server セットアップウィザードへようこそ]というウィンドウが表示されたら、[次へ]ボタンをクリックします。



9. [次へ]ボタンをクリックします。



10. Web コンソールへ Administrator でログインするためのパスワードを設定して、[次へ]ボタンをクリックします。

ESET PROTECT Server セットアップ

Webコンソールユーザーとサーバー接続  
Webコンソールのユーザー名とパスワード、サーバーの接続ポートを入力してください。

Webコンソールユーザー: Administrator

パスワード:

パスワード確認:

エージェントポート: 2222

コンソールポート: 2223

戻る(B) **次へ(N)** キャンセル

11. 必須フィールドに入力があることを確認し、[次へ]ボタンをクリックします。

ESET PROTECT Server セットアップ

証明書情報  
以下に共通証明書情報を入力してください。

組織単位:

組織:

ローカル:

州/国:

証明書の有効期間: \* 10 年

権限共通名: \* サーバー証明書

権限パスワード:

\* 必須フィールド

戻る(B) **次へ(N)** キャンセル

12. [製品認証キーでアクティベーション]にチェックをいれ、[製品認証キー]を入力して[次へ]ボタンをクリックします。

※プロキシサーバーをご利用環境の場合、インストール時にアクティベーションはできません。

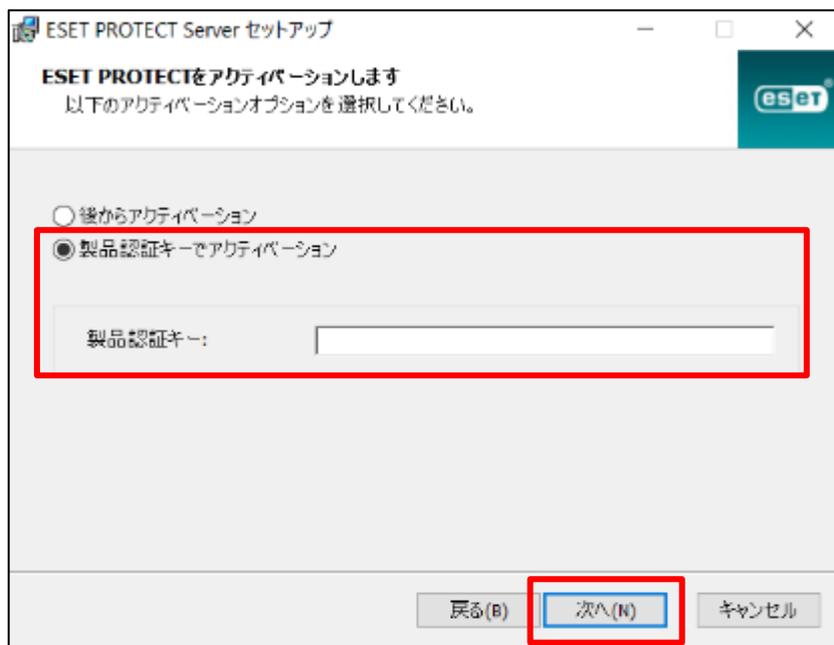
[後からアクティベーション]を選択し、インストール終了後にプロキシサーバー設定を行ってからアクティベーションを行ってください。

【プロキシサーバーの設定方法について】

[https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/158?site\\_domain=business](https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/158?site_domain=business)

【製品のアクティベーション(製品認証キー、または、ユーザー名・パスワードの設定)方法】

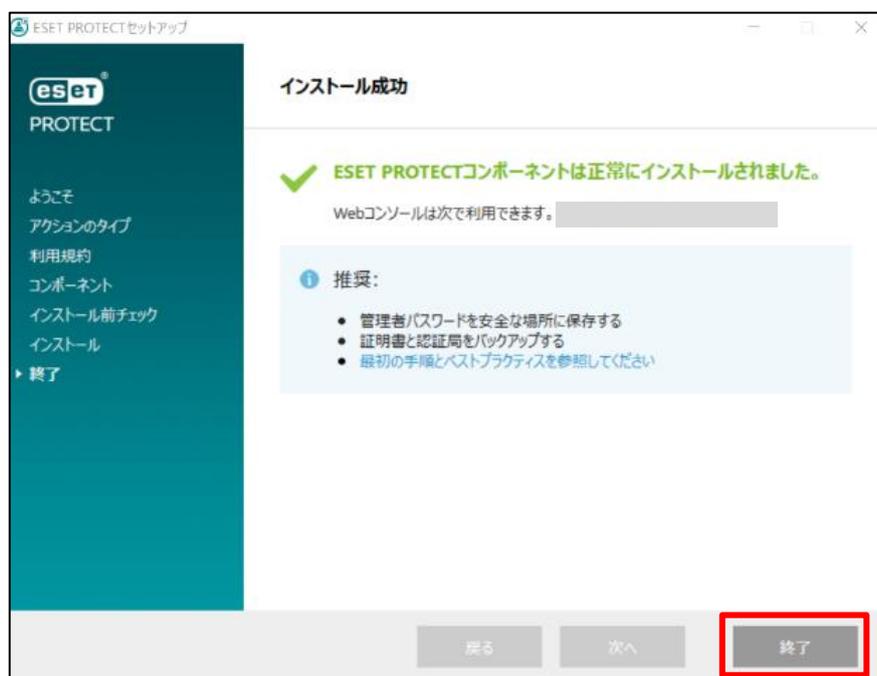
[https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/48?site\\_domain=business](https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/48?site_domain=business)



13. [インストール]ボタンをクリックします。



14. インストールが成功すると、以下の画面が表示されます。Web コンソールのアドレスが表示されますのでご確認ください。最後に[終了]ボタンをクリックしてインストール完了です。



#### <参考>

EP では、クライアントから収集したログや設定ファイルを、既定でインストールされる Microsoft SQL Server に保存します。管理するクライアントの台数が多い場合やログを長期間保存する場合は、容量制限のないデータベースをご利用ください。

詳細は、下記 Web ページをご参照ください。

【オンプレミス型セキュリティ管理ツールのサポート対象データベースについて】

[https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/91?site\\_domain=business](https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/91?site_domain=business)

#### <参考>

EP で使用するポート番号は、下記 Web ページをご参照ください。

【オンプレミス型セキュリティ管理ツールで使用するポート番号について】

[https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/94?site\\_domain=business](https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/94?site_domain=business)

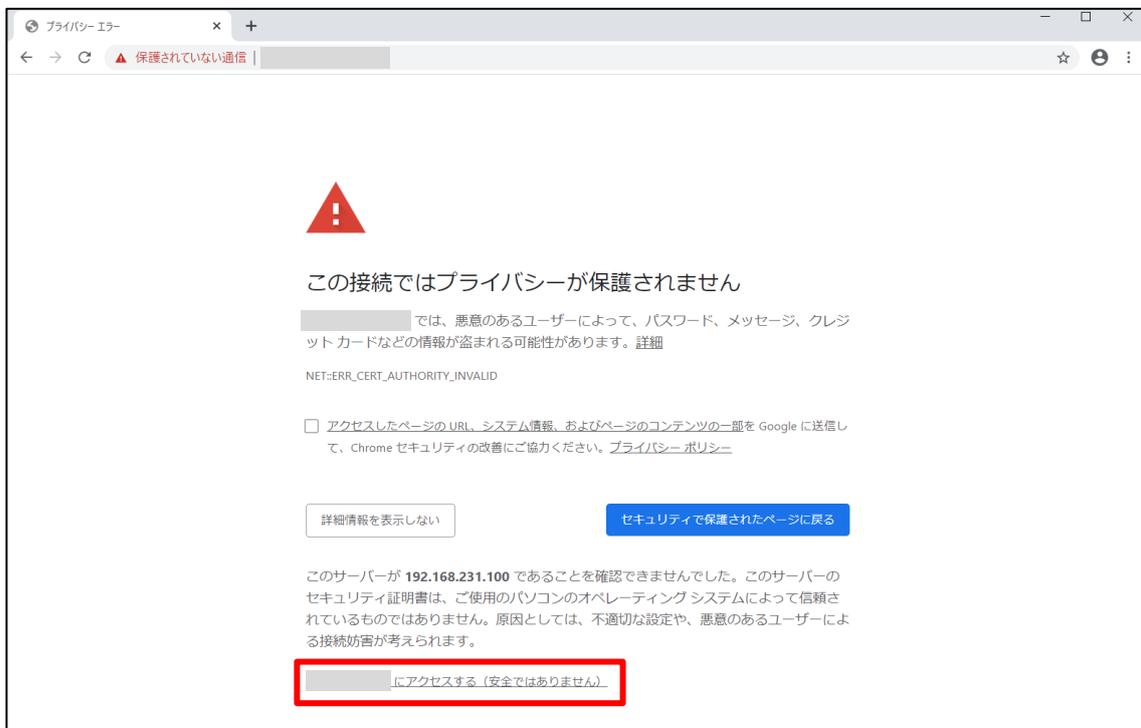
## ■ ESET PROTECT V8.0 へログイン ■

インストールが完了しましたら、以下の手順に従って ESET PROTECT V8.0 へログインしてください。

1. Web ブラウザより以下のアドレスにアクセスします。

https://<EP サーバーの IP アドレス>/era/

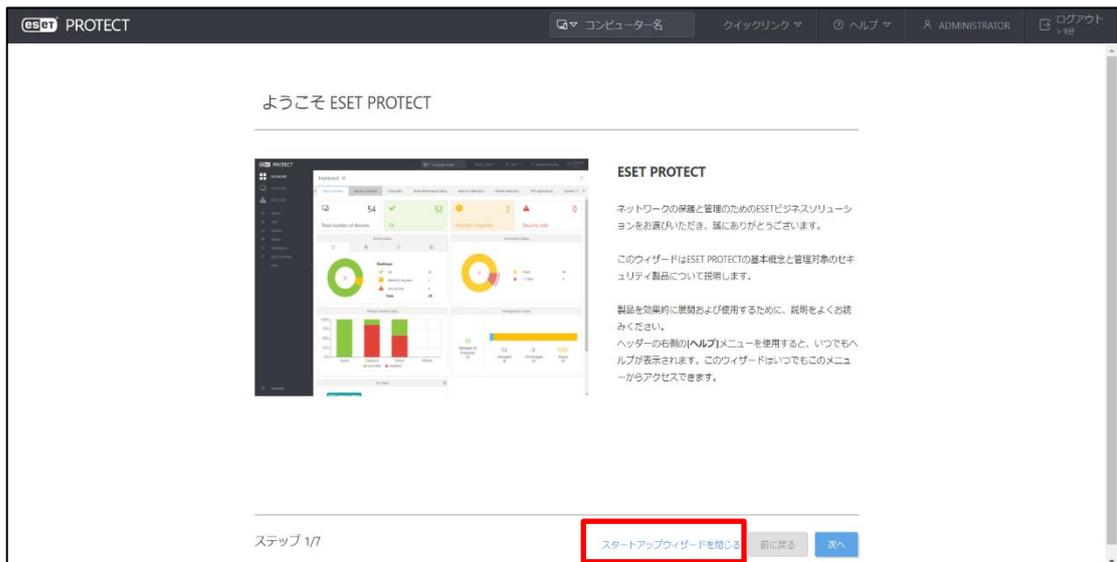
以下の画面が表示されますので「～にアクセスする(安全ではありません)」をクリックします。  
※ここでは、EP V8.0 のインストール時に独自に作成したセキュリティ証明書を  
利用しているため、管理画面アクセス時に下記の注意画面が表示されます。  
※お使いのブラウザにより表示内容が異なります。



2. EP V8.0 のログイン画面が表示されます。  
プルダウンメニューより[日本語]を選択し、[ユーザー名]に[Administrator]、[パスワード]にインストール時に設定した[パスワード]を入力して[ログイン]ボタンをクリックします。



3. ログイン後、下図のように EP V8.0 の画面が表示されることを確認します。  
※スタートアップウィザードを閉じる場合は、右下の[スタートアップウィザードを閉じる]をクリックしてください。



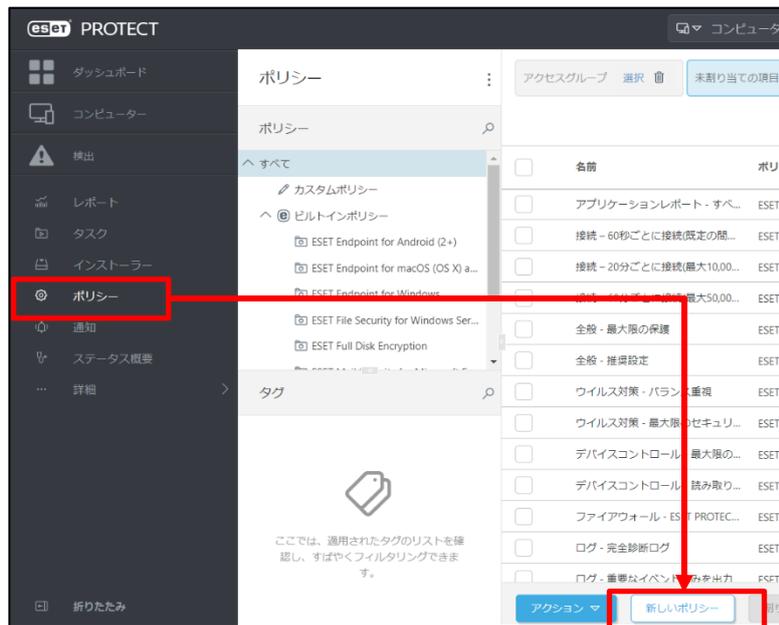
## 7. 【STEP4】 クライアント用プログラムのバージョンアップ

【STEP3-2】で構築したミラーサーバーから検出エンジンをアップデートするポリシーを組み込んだオールインワンインストーラーを用いて、クライアント用プログラムのバージョンアップを行います。

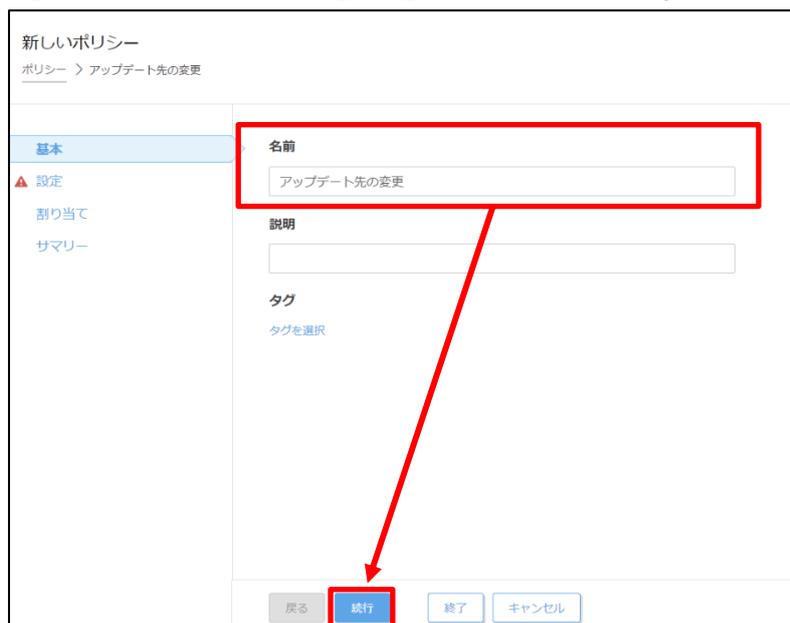
### STEP4-1. クライアント用プログラムのアップデート先を変更するポリシーの作成

クライアント用プログラムのオールインワンインストーラーに組み込むポリシーを作成します。

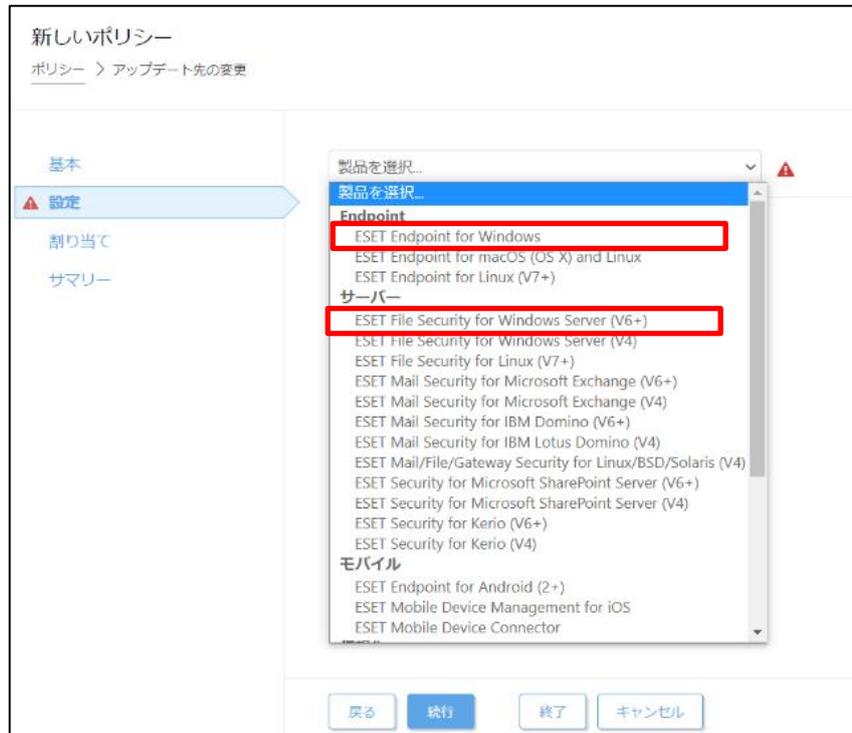
1. EP V8.0 にログインし、[ポリシー]-[新しいポリシー]ボタンをクリックします。



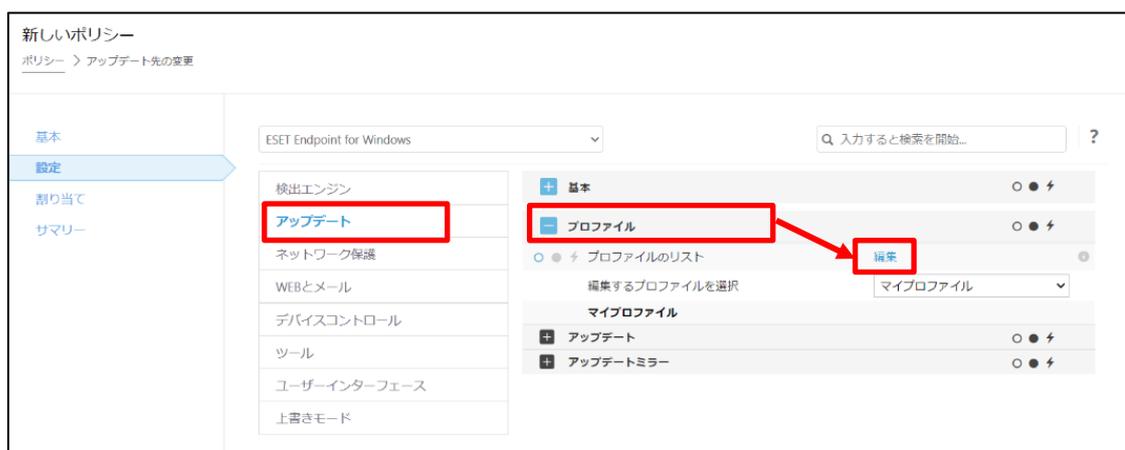
2. [名前]に、任意の名前を入力し、[続行]ボタンをクリックします。(例：アップデート先の変更)



3. [製品を選択]から、プログラムに応じて以下の通り選択します。
  - ・EES/EEA の場合… [ESET Endpoint for Windows]
  - ・EFSW の場合… [ESET File Security for Windows Server (V6+)]
 ※ここでは、[ESET Endpoint for Windows]を選択します。



4. [アップデート]-[プロファイル]を展開し、[プロファイルのリスト]の[編集]をクリックします。



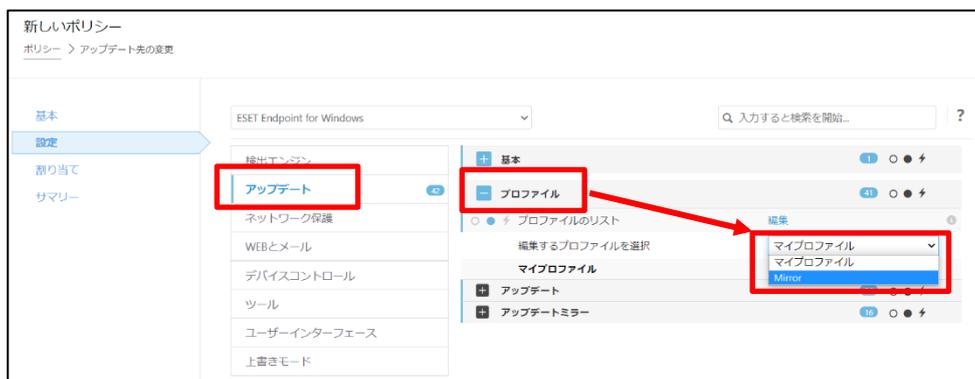
5. 任意のプロファイル名を記入し、[追加]ボタンをクリックします。  
例)Mirror



6. プロファイルが追加されたことを確認したら、[保存]ボタンをクリックします。



7. [アップデート]-[プロファイル]を展開し、[編集するプロファイルを選択]のプルダウンから、新しく作成したプロファイルを選択します。



8. [アップデート]を展開し、[モジュールアップデート]の[自動選択]のチェックを外します。



9. [カスタムサーバー]に、【STEP3-2】で構築したミラーサーバーの IP アドレスとポートを入力します。

例)http:// <IP アドレス> : <ポート>



10. [基本]を展開し、[既定のアップデートプロファイルを選択]のプルダウンから、【STEP4-1】の手順 5 で作成したプロファイルを選択します。

※プロキシサーバーをご利用の場合、事前にプロキシサーバー設定をしておく必要があります。

[ツール]-[プロキシサーバー]より、プロキシサーバーの値もここで入力してください。



11. [終了]ボタンをクリックします。



以上で、アップデート先変更ポリシーの作成は完了です。

## STEP4-2. ポリシーを組み込んだオールインワンインストーラーの作成

【STEP4-1】で作成したポリシーを組み込んだオールインワンインストーラーを作成します。

1. EP V8.0 にログインし、[インストーラー]-[インストーラーの作成]-[オールインワンインストーラー]をクリックします。



2. [パッケージの内容]の[セキュリティ製品]にチェックを入れ、[続行]ボタンをクリックします。



3. [ライセンス]に正しくライセンスが登録されていることを確認します。

**<注意>**

ライセンス情報には以下のいずれかの情報が表示されていますのでメモをします。

- ESET Endpoint Antivirus + File Security
- ESET Endpoint Security + File Security



4. [製品バージョン]に記載されているプログラム名をクリックします。

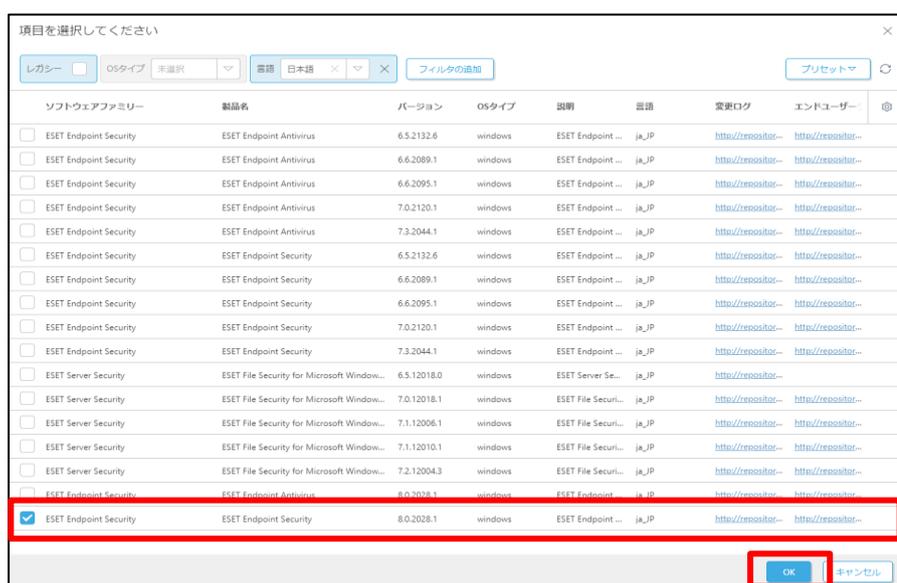


5. プログラム一覧から、インストールするプログラムを選択し、[OK]ボタンをクリックします。

**<注意>**

バージョンアップする製品は、お客様のご利用されているライセンスに合わせた製品を選択します。

- ESET Endpoint Antivirus + ESET File Security :  
ESET Endpoint Antivirus を選択します。
  - ESET Endpoint Security + ESET File Security :  
ESET Endpoint Security、または ESET Endpoint Antivirus を選択します。
- ※製品選択を間違えないようご注意ください。  
※以下は ESET Endpoint Security を選択した画面例です。



6. [設定ポリシー]の[選択]をクリックします。



7. ポリシーの一覧から【STEP4-1】で作成したポリシーを選択し、[OK]ボタンをクリックします。



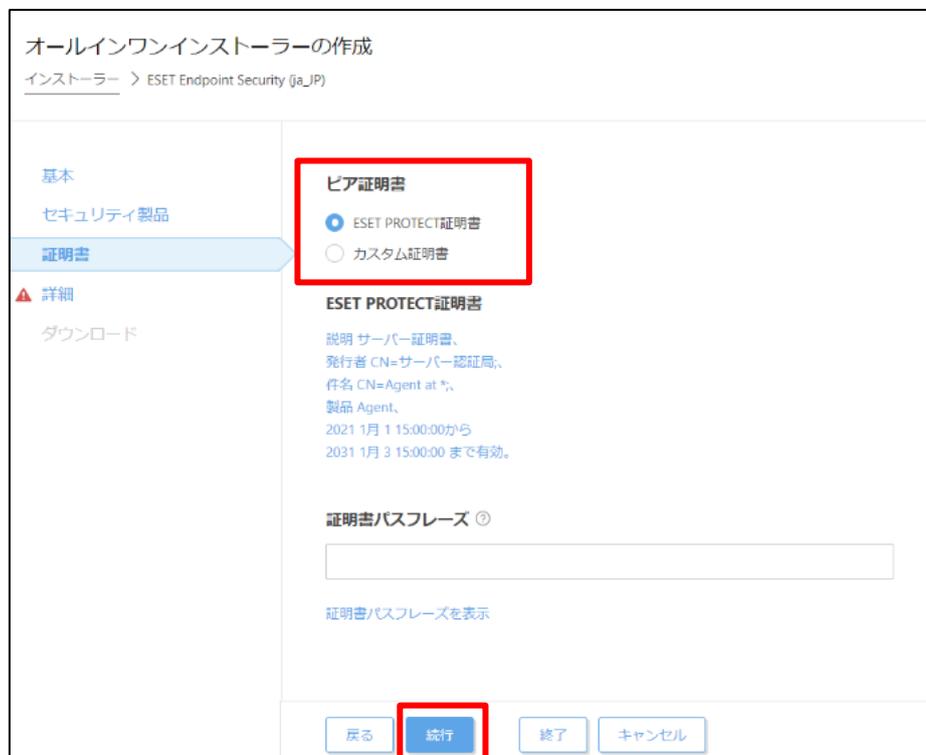
8. [アプリケーションのエンドユーザー使用許諾契約の条項に同意し、プライバシーポリシーを確認します。]にチェックを入れます。



9. [ESET LiveGrid フィードバックシステム]と[望ましくない可能性があるアプリケーションの検出]のそれぞれの設定を行い、[続行]ボタンをクリックします。



10. [ピア証明書]で[ESET PROTECT 証明書]を選択し、[続行]ボタンをクリックします。



11. 必要に応じて、[名前]と[説明]を入力します。  
(規定で名前にはセキュリティ製品名(例:ESET Endpoint Security(ja\_JP))が登録されています。)

オールインワンインストーラーの作成  
インストーラー > ESET Endpoint Security (ja\_JP)

基本  
セキュリティ製品  
証明書  
詳細  
ダウンロード

**名前**  
ESET Endpoint Security (ja\_JP)

**説明**

タグ  
タグを選択

親グループ(任意)  
選択 または 新規グループの作成

ESET AV Removerを有効にする

**インストーラーの初期設定**

i 組み込んだ初期設定は静的グループに適用されたポリシーで置換されます。

12. [選択]または[新規のグループの作成]をクリックし、インストール後にコンピューターが配置されるグループを指定します。(任意)  
また、[ESET AV Remover を有効にする]にチェックが入っていないことを確認します。

オールインワンインストーラーの作成  
インストーラー > ESET Endpoint Security (ja\_JP)

基本  
セキュリティ製品  
証明書  
詳細  
ダウンロード

**名前**  
ESET Endpoint Security (ja\_JP)

**説明**

タグ  
タグを選択

**親グループ(任意)**  
選択 または 新規グループの作成

**ESET AV Removerを有効にする**

**インストーラーの初期設定**

i 組み込んだ初期設定は静的グループに適用されたポリシーで置換されます。

## 13. [サーバーホスト名(またはサーバーの IP アドレス)]を確認します。

オールインワンインストーラーの作成  
インストーラー > ESET Endpoint Security (ja\_JP)

インストールの初期設定

組み込んだ初期設定は静的グループに適用されたポリシーで置換されます。

設定テンプレート

設定しない  
 ポリシーのリストから設定を選択

サーバーホスト名(またはサーバーのIPアドレス)

クライアントから接続できるサーバーのホスト名を入力します。空白の場合は、サーバーのホスト名が使用されます

ポート

2222

HTTPプロキシ設定

HTTPプロキシ設定を有効にする

戻る 実行 終了 キャンセル

※[HTTP プロキシ設定]については、ご利用のネットワーク環境に応じて設定します。

なお、エージェントとEP間や、エージェントとインターネット間の通信で、プロキシを経由する場合は、別途ポリシーを設定するため、ここではチェックしません。

以下のポリシーを別途作成し、上記画面内の[設定テンプレート]より作成したポリシーを選択してプロキシ設定を行ってください。

- ・[製品を選択]より[ESET Management Agent]を選択。
- ・[詳細設定]-[プロキシ設定タイプ]-[グローバルプロキシ]より入力。

## 14. [終了]ボタンをクリックします。

オールインワンインストーラーの作成  
インストーラー > ESET Endpoint Security (ja\_JP)

インストールの初期設定

組み込んだ初期設定は静的グループに適用されたポリシーで置換されます。

設定テンプレート

設定しない  
 ポリシーのリストから設定を選択

サーバーホスト名(またはサーバーのIPアドレス)

クライアントから接続できるサーバーのホスト名を入力します。空白の場合は、サーバーのホスト名が使用されます

ポート

2222

HTTPプロキシ設定

HTTPプロキシ設定を有効にする

戻る 実行 終了 キャンセル

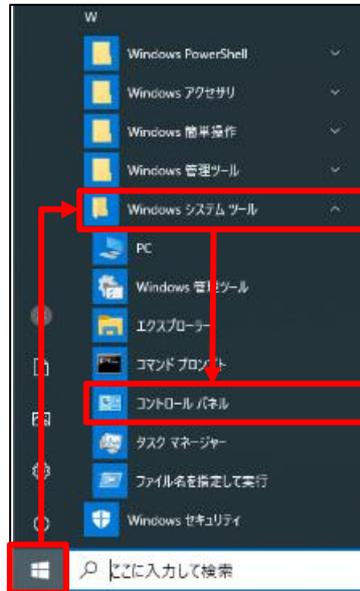
15. 展開するクライアント端末に応じて、[32bit 版をダウンロード]または[64bit 版をダウンロード]をクリックします。ダウンロードが完了したら、ご使用のブラウザの方法に従い、任意のフォルダにインストーラーを保存してください。



以上で、ポリシーを組み込んだオールインワンインストーラーの作成は完了です。

### STEP4-3. ESET Endpoint Security / ESET Endpoint アンチウイルス V5.0 の アンインストール

1. [スタート]-[Windows システム ツール]-[コントロールパネル]をクリックします。



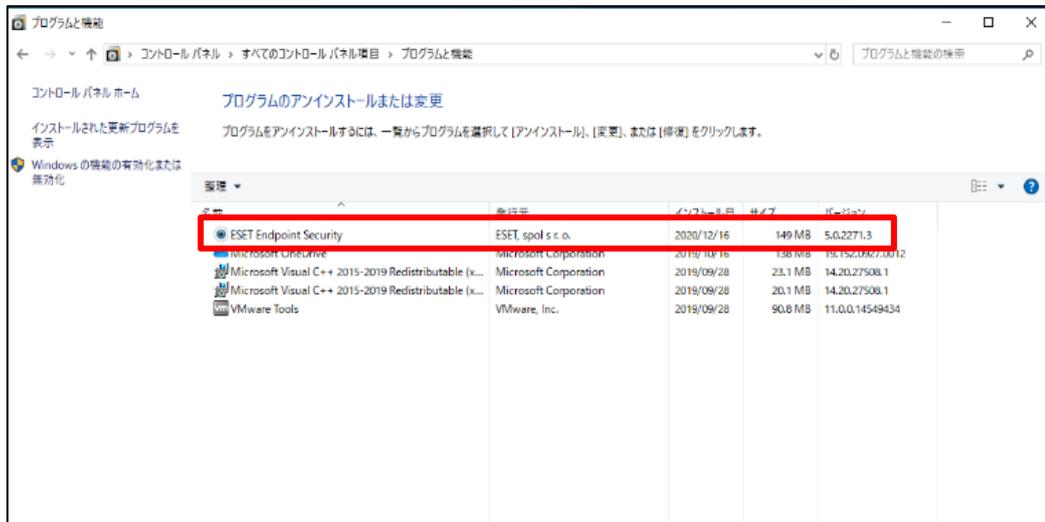
2. [プログラムと機能]をクリックします。  
※本手順では、表示方法を[小さいアイコン]に設定しています。



## ESET PROTECT ソリューション

### バージョン 5 からバージョン 8 へのバージョンアップ手順書

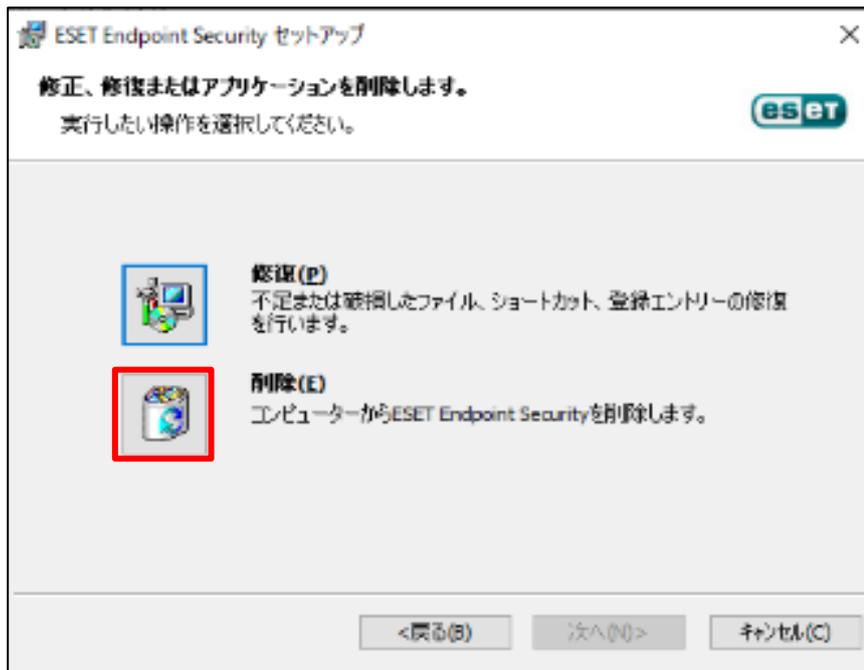
3. [ESET Endpoint Security]または[ESET Endpoint Antivirus]をダブルクリックします。



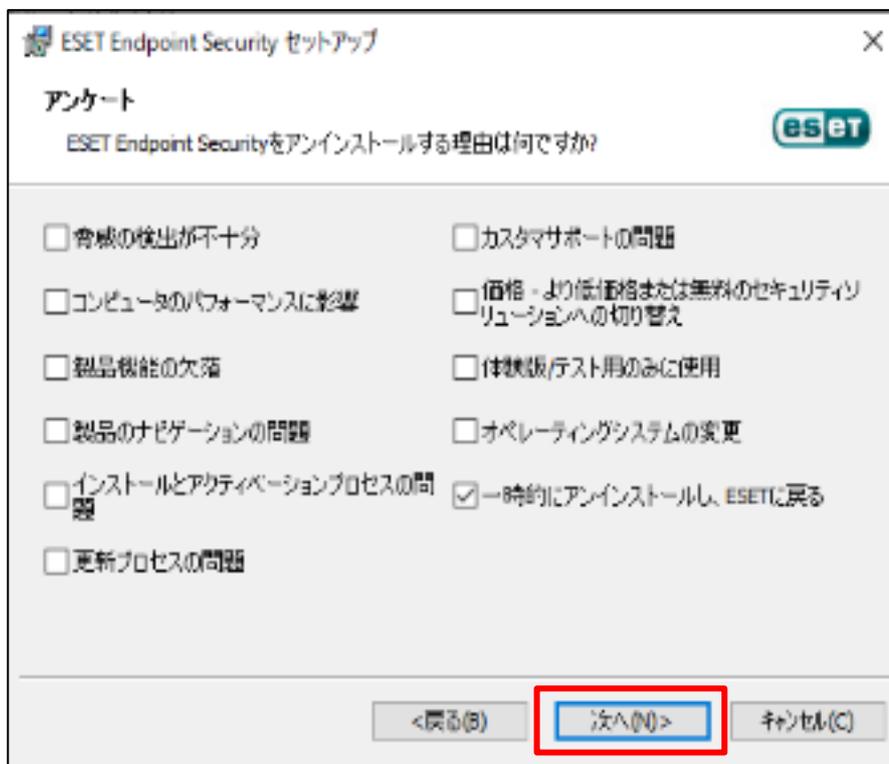
4. [ESET Endpoint Security セットアップウィザードへようこそ] というウィンドウが表示されたら、[次へ]ボタンをクリックします。



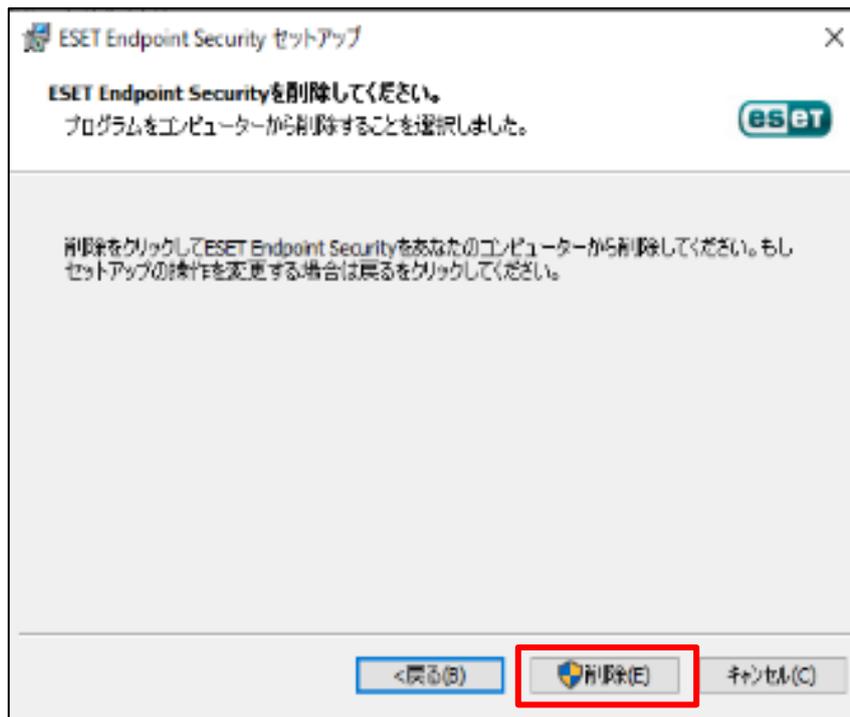
5. [削除]をクリックします。



6. アンケート画面では、任意の項目にチェックを入れ、[次へ]ボタンをクリックします。



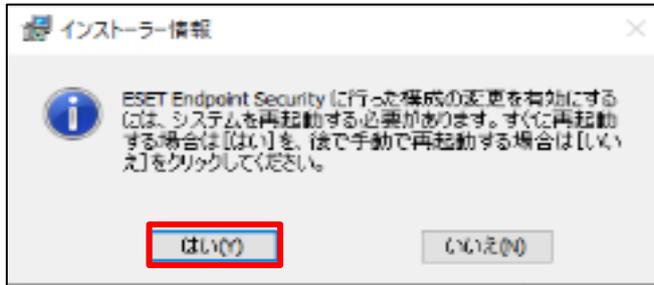
7. [削除]ボタンをクリックします。



8. アンインストールが開始されます。  
※途中で[ユーザーアカウント制御]のウィンドウが表示された場合は[はい]ボタンをクリックします。
9. [完了]ボタンをクリックします。



- 再起動を促すウィンドウが表示されたら[はい]ボタンをクリックします。

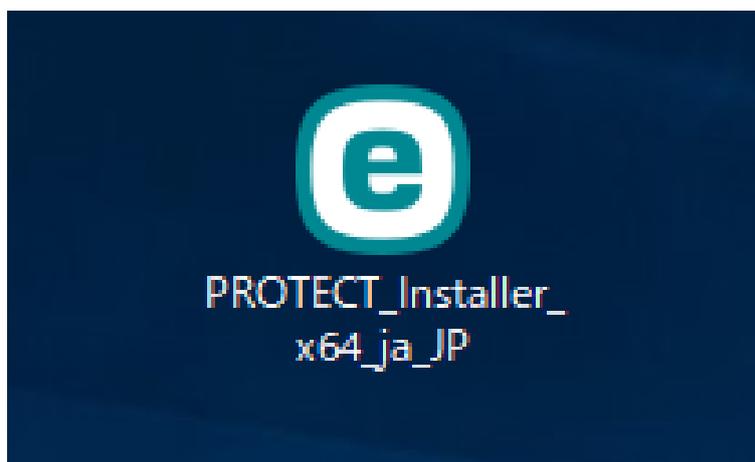


- 再起動が終了したら、アンインストール完了です。

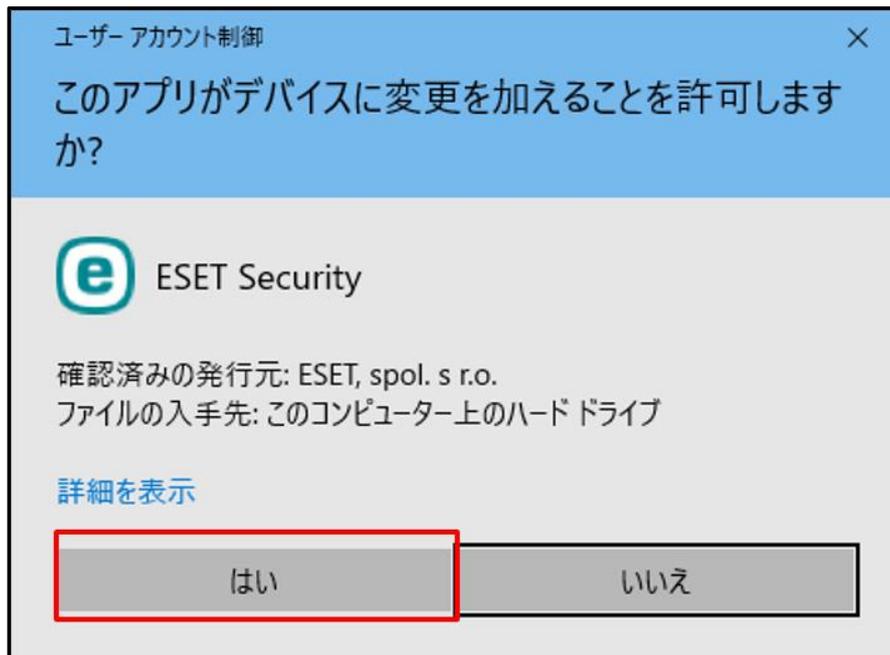
#### STEP4-4. ESET Endpoint Security / ESET Endpoint アンチウイルス V8.0 のインストール

ESET Endpoint Security / ESET Endpoint アンチウイルス V5.0 のアンインストールが完了しましたら、以下の手順を参照し、各クライアントでオールインワンインストーラーを実行してください。

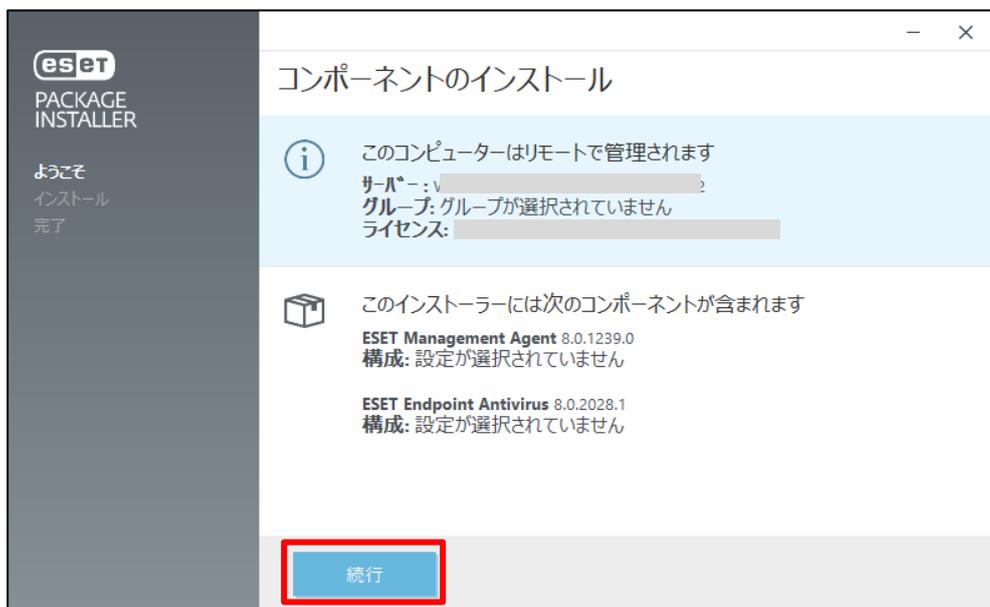
- 各クライアント端末上で、作成したオールインワンインストーラーをダブルクリックしてください。



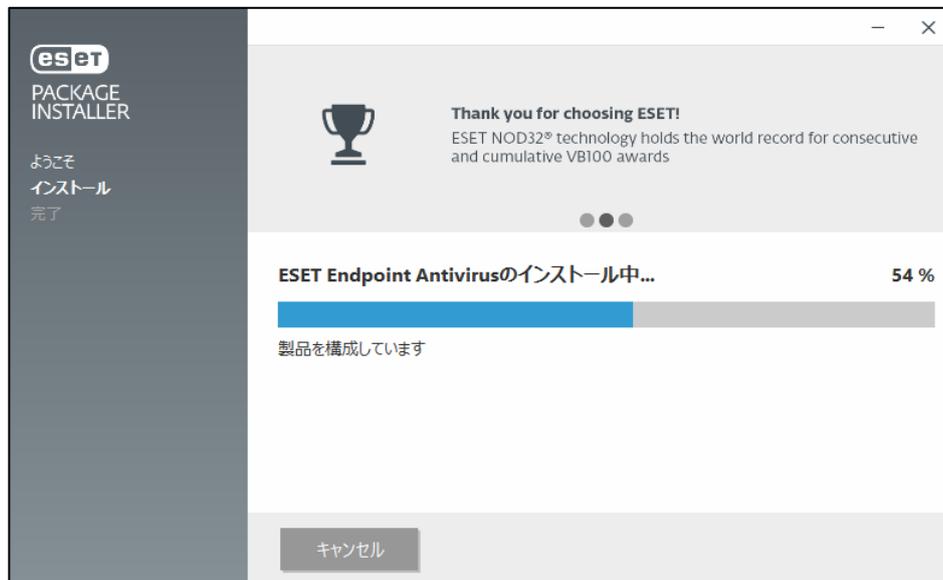
2. [ユーザーアカウント制御]画面が表示された場合は、[はい]ボタンをクリックします。



3. オールインワンインストーラーが起動します。[続行]ボタンをクリックします。



4. [インストール]ボタンをクリックすると、インストールが開始されます。



5. インストールが完了したら、[完了]ボタンをクリックします。



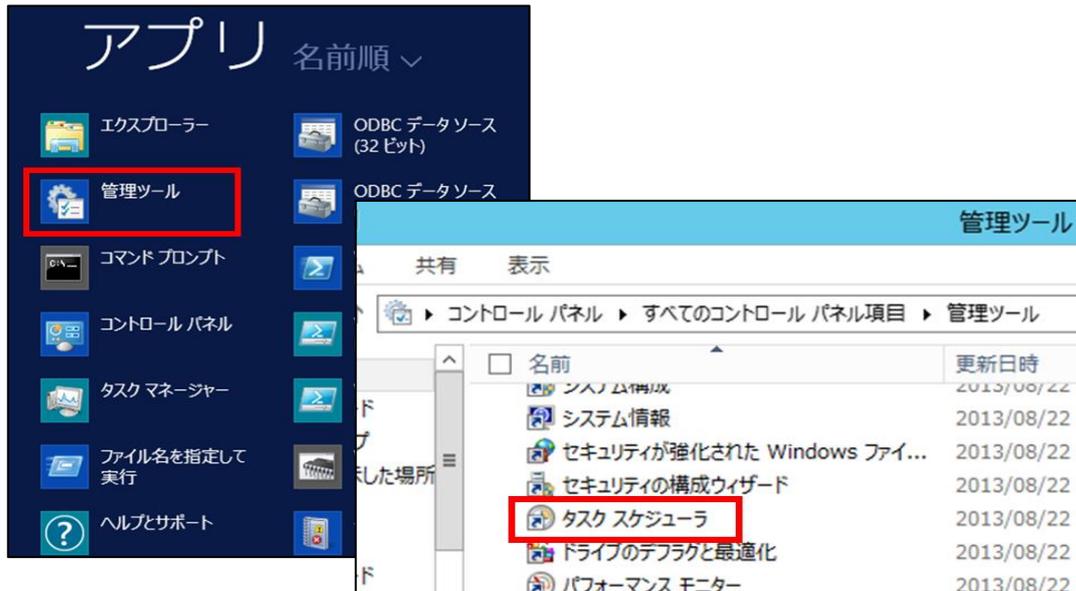
6. ESET Endpoint Security V8.X が起動します。コンピューターの再起動を行ってください。

以上で、オールインワンインストーラーによるクライアント用プログラムの上書きインストールは完了です。

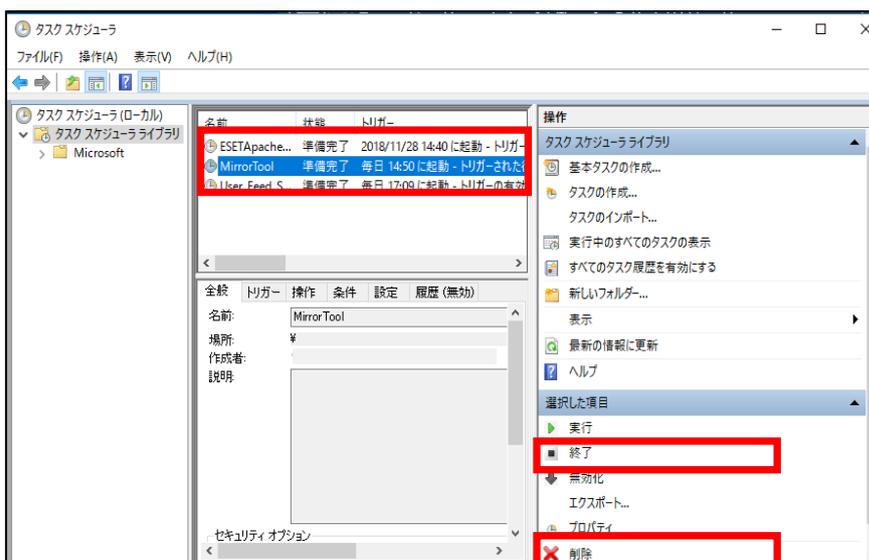
## 8. 【STEP5】旧バージョン用に構築したミラーサーバーの削除

【STEP1】で構築したミラーサーバーで使用した Windows タスクの削除と IIS の停止を行います。

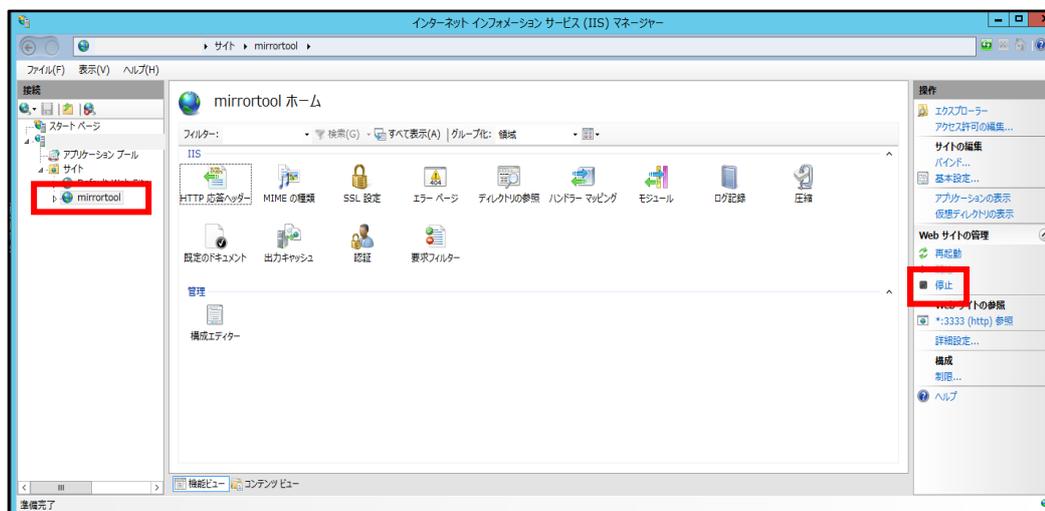
1. [スタートボタン]-[管理ツール]-[タスク スケジューラ]をクリックし、タスクスケジューラを起動します。



2. 【STEP1】で構築したミラーサーバーで利用していたタスク[MirrorTool]を選択し、[終了]または[削除]をクリックします。



3. 管理ツールより IIS マネージャーを起動し、ミラーツールの配布に使用したサイトを停止させます。



※ミラーツールで作成した以下のフォルダも削除していただいて問題ございません。

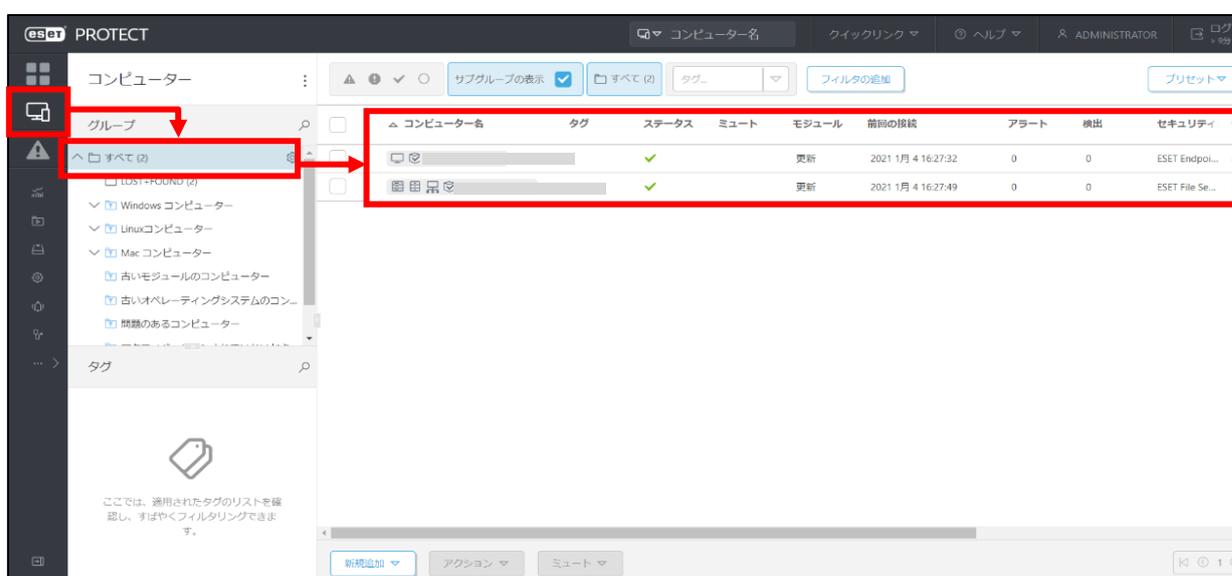
C:¥ESETMirror¥Win32¥mirror¥eset\_upd

以上で、旧バージョン用に構築したミラーサーバーの削除は完了です。

## 9. 【STEP6】 管理が開始されたことの確認

以下の手順に従って、EP V8.0 にて管理ができているかどうか確認してください。

1. EP V8.0 の Web コンソールの[コンピューター]メニューから[すべて]を選択します。
2. 管理対象クライアントの[セキュリティ製品]が[ESET Endpoint Security]や[ESET Endpoint Antivirus]、[ESET File Security]に、[セキュリティ製品バージョン]が[ESET Endpoint Security]や[ESET Endpoint Antivirus]は[8.X.XXXX.X]に、[ESET File Security]は[7.X.XXXX.X]にバージョンアップしていることを確認してください。



以上で、バージョン 5 からバージョン 8 へのバージョンアップは終了となります。